

専修学校留学生就職アシスト事業

関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業  
実施報告書

平成27年度 文部科学省委託事業



一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

平成27年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業  
実施報告書

## 目次

はじめに.....	3
第1章：委託事業の概要.....	5
1. 委託事業名.....	5
2. 委託事業実施期間.....	5
3. 委託事業の目的.....	5
4. 専修学校、産業界、地方公共団体、在日外国公館との連携体制.....	5
5. 委託事業の概要.....	6
6. 委託事業の成果.....	8
7. 今後への提言.....	9
(1) 次年度以降における課題.....	9
(2) 今後への5つの提言.....	9
第2章：事業別成果報告.....	10
1：WEBサイトを活用した国内・海外への留学情報、職業教育、 教育コンテンツの発信.....	10
1 - A. WEB上での留学情報・職業教育の発信情報の整備、教育コンテンツの発信.....	10
2：専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備.....	15
2 - A. 現地職業教育機関とのネットワークの充実.....	15
2 - B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと 視察受入.....	17
3：国内日本語学校への専修学校留学生の職業教育の理解促進.....	30
3 - A. 日本語学校、専修学校の受け入れ担当者向け研修会の実施.....	30
3 - B. 「出前授業」パンフレットの作成と「出前授業」の日本語学校への普及.....	39
4：留学生採用意欲を持つ中小企業と専修学校との連携事業.....	45
4 - A. 留学生採用企業交流会の実施.....	45
4 - B. 専修学校職業教育普及のための外国人留学生職業人育成ガイドの作成.....	58

第3章：「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」のまとめ.....	60
1. 委託事業の成果.....	60
2. 次年度以降における課題.....	61
第4章：提言2016 .....	62
1. 趣旨.....	62
2. 5つの提言.....	62
第5章：成果の普及 .....	65
1. 事業の周知実績.....	65
2. 報告書配布先.....	65
3. 広報予定.....	65
事業実施体制 .....	66

## はじめに

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（以下「大専各」と記す）は専修学校及び各種学校教育に関する調査研究、その資質向上、職業教育の振興に寄与することを使命としています。その大きな役割のひとつとして、専門学校に在籍する外国人留学生（以下「留学生」と記す）が高度人材または中核的専門人材として活躍できる環境を構築する事業に取り組んでいます。近年日本企業のASEAN 諸国への進出が加速するにつれ、企業側の留学生に対する人材ニーズも年々高まってきております。

このような環境の中、文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」を受託出来たことにより、WEB 上での留学情報・職業教育の発信、現地教育機関の日本留学・専門学校理解促進、留学生採用交流会開催や留学生職業人育成ガイドの作成等の有意義な事業が進められました。特に留学生職業人育成ガイドには専門学校に在籍、また卒業した留学生の就職実績等が掲載されており、日本語学校や企業に専門学校留学生について理解を得るうえで、大きな効果があると考えております。

昨今はベトナムを中心としたASEAN 諸国から日本国内での就職志向の強い留学生が増えてきています。ただ、ASEAN 諸国の留学生を受入れるにあたり、日本語教育や生活指導の問題など、これらの課題が顕著になりつつあり、その課題解決のためには、日本語学校と専門学校との連携が大切と考え、今年度は両校の受け入れ担当者研修会を実施しました。今後、日本語学校よりASEAN 諸国からの留学生が専門学校に進学することを考えると、両者の緊密な関係が一層重要になると考えています。

この7年間、文部科学省の予算を活用させていただき、留学生支援のインフラを整えてこられましたことに感謝申し上げます。今後も時代の大きな変化を受け止め、益々増加するであろう留学生に日本のファン、また大阪のファンになっていただく支援事業を続けてまいりますので、文部科学省の引き続きのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

理事長 福田 益和

日本企業の海外進出に拍車がかかりだしました。消費人口が減少する国内だけで事業展開することに限界を感じ出したのではないのでしょうか。大企業はもちろんのこと中小企業の海外進出も目立ち始めました。そのため、グローバル人材育成の必要性が一層高まっています。大専各では、ここ7年間文部科学省のご支援を受けて、関西企業の人材のグローバル化に貢献してまいりました。これまで中国の留学生の増加が顕著でしたが、昨年あたりからベトナム、ネパールの留学生が急激に増加し、新たな課題として日本語力の強化策が浮かび上がってきました。

これらの課題解決を視野に入れながら、2013年からベトナムの留学生の送り出し機関の調査をし、結果悪質な送り出し機関の存在が明らかになりました。そのため質の高い現地機関として、ベトナムのトップレベルの大学との連携を進めることになり、これまで日本側の専門学校とベトナム側のトップレベルの大学との締結が3校ずつ結ばれるという実績が生まれました。

また昨年と同様、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団〔TCE財団〕（以下「TCE財団」と記す）と連携事業を実施、今年度は大阪府内企業を対象に外国留学生の採用に関する意識調査を行いました。この調査は企業の外国人留学生採用に関する意識の把握と平成22年度に実施した同様の調査と比較して、この5年間でどのように変化したかを検証することを目的に調査しました。特にこの5年間の変化は非常に大きかっただけに、その変化の様子が明確になったと思います。

このように大専各では、現状把握と未来の方向性を示す事業を展開し、課題解決をしてきましたが、専門学校の教育分野により専門士として就職できる分野は未だに制限されています。そのため早期の在留資格の緩和は重要です。全国レベルの課題として、文部科学省、全校専修学校各種学校総連合会、TCE財団が協力して課題を解決し、日本企業のグローバル人材育成に役立ちたいと考えております。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会  
留学生委員会 委員長 長谷川 恵一

## 関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業

### 第1章：委託事業の概要

#### 1. 委託事業名

関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業

#### 2. 委託事業実施期間

平成27年8月24日から平成28年3月14日まで

#### 3. 委託事業の目的

大専各は、過去6年間にわたり「関西型留学生就職支援基盤の構築事業」、「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」を推進した。同事業の成果として専修学校留学生の受入態勢の整備、送り出し機関から企業採用までのワンストップサービスを提供する職業教育モデルの構築、留学生が日本就職するために求められるマインドとスキルの育成のための留学生基礎力の定義と育成のためのコンテンツ作成と普及活動の実施、産・官・学の連携による専修学校留学生の採用促進のため連携の強化を図ってきた。その結果として関西地域に専修学校留学生採用の強いネットワーク形成を実現し、留学生の受入から就職までのワンストップサービスの定着を推進してきた。

昨年度よりは、このネットワークの活用と育成のモデルとコンテンツをより普及させていくことを前提に、近年の非漢字圏の多様な文化を持つ留学生の受入の拡大に伴う新たな拠点整備にも取り組みを開始した。

今年度は、こうした成果と取り組みを継続的に推進し、日本の専門学校の職業教育の質の高さを広く国内外へ周知させ、受け入れから就職までのワンストップサービスの仕組みを充実させ、専門学校の留学生の一層の日本就職を促進する事業を実施した。

#### 4. 専修学校、産業界、地方公共団体、在日外国公館等との連携体制

本事業は、大専各が核となって、関西地区の専門学校に呼びかけ、日本語学校、留学生採用に興味をもっている企業、商工会議所などの経済団体や入国管理局などの協力を得て、関西に、専修学校留学生の日本就職を社会システムとして定着させることを目的とした。

大専各の中では、留学生委員会のメンバーが幹事校を務め、事務局と共に運営・企画を担う。事業は、大専各の会員校を中心に関西の専門学校にも参加を呼びかけた。

企業の留学生採用のニーズの反映と受入れ促進を目的として、大阪商工会議所、大阪府、大阪労働協会、関西経済連合会の協力を得て、制度の確立と留学生採用の機運を盛り上げた。

さらに、WEB上でのワンストップサービスを目指した国内外向けの留学・就職支援サイト構築のために、留学生用の教材販売会社「凡人社」の他、日本語教育振興協会、大阪府府民文化部私学・大学課、大阪入国管理局、大阪商工会議所、大阪労働協会、及び大阪府内の協力企業との協力関係も構築することを目的とした。また海外拠点整備にあたっては、引き続きベトナムに焦点を当て、ベトナム現地との交流の強化を図り、合わせてベトナム領事館との連携強化を目的とした。

## 5. 委託事業の概要

### (1) WEB サイトを活用した国内・海外への留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信

#### 1-A. WEB上での留学情報、職業教育の発信情報の整備、教育コンテンツの発信

WEB上でのワンストップサービスを目指し構築した国内・海外向け留学・就職支援サイト＝大専各留学生支援サイトのコンテンツの充実により、活性化を推進する。

現在、同サイトでは「日本留学を目指す人」「留学生送り出し機関」「企業」の多方面にむけた情報発信をするプラットフォームとして活用を開始しているが、このサイトをより活性化させる目的で、最新の情報をサイトにアップできる仕組みを検討し、サイトの充実と活性化で「関西」と「専門学校職業教育」の普及に努める。また、同サイトにおいて本事業の告知・周知等を一層高め、国内外への情報発信に努める。

#### <サイト利用状況>

大専各留学生支援サイト <http://www.daisen-ryugaku.com/>

対象期間：2015年9月1日～2016年2月22日現在

(カッコ内は2014年9月1日～2015年2月22日実績)

訪問数 4,967 (3,762)

ユーザー数 3,424 (2,624)

ページビュー数 11,205 (9,217)

#### <今年度の主な作業、作成コンテンツ等>

- E-learning コンテンツ新規作成（日本語トレーニングテスト 慣用句編）
- 2015年度版サイトの作成（今年度の職業人育成ガイド内容に合わせサイト内のデータ、図表、コメント、レイアウトを更新）
- スマートフォンへの対応

### (2) 専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備

昨年度より海外とのネットワーク構築と拠点整備を、現在急激に日本留学生数が増加しているベトナムに焦点を当てて取り組んだ。この結果としてベトナムの大学・短期大学と日本の専門学校が直接連携することにより、日本就職までの秩序だった受け入れを推進するフローモデルを作ることができたが、事業としてまだ途上にある。

今年度は、昨年度の成果であった日越職業教育交流をより一層広げ、①海外高等教育機関への日本の専門学校の職業教育の内容、日本留学の状況と条件などの重要情報をより一層周知する②海外送り出し機関との協定受入れのプラットフォームの構築③インターンシップ、単位交換等も含めた職業教育連携モデルの構築④今後予想される介護分野での人材受け入れの前段階として両国の教育交流に取り組んだ。

#### 2-A. 現地職業教育機関とのネットワークの充実

昨年度構築できたベトナム現地における大学・短期大学とのネットワークの一層の充実を図り、このネットワークが日越職業教育交流のプラットフォームになるよう、現地教育機関に昨年度の成果を周知するとともに、日本の専修学校の内容を理解していただき、留学送り出しから専修学校への入学、日本就職までの円滑で秩序だった流れの整備を双方の協定交流によって実現するモデルを訴求した。但し本年度は本事業の開始の時期と予算の関係で日本側の専門学校が直接ベトナムを訪れ交流する形はとらず、現地業者へ委託しての事業成果の普及と2-B事業に繋がる日本招へいの活動にとどまった。

## 2 - B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入

昨年同様に、ベトナムでの交流事業において交流した大学・短期大学の担当者を日本へ招へいし、大阪の専修学校の視察受け入れを行い、専修学校の現状、日本留学の受入の現状（生活環境）、専修学校留学生採用企業など実態を把握し、日本側ニーズとベトナム側ニーズの双方の理解促進を図った。招へいに当たっては、多様な分野の交流のために、日本側で工業分野（建設・IT）、服飾分野とまた将来に予想される介護分野の専門学校との交流を企画・実施した。

この招へい事業で形成されるネットワークが、今後、日越の学校協定推進のためのプラットフォームの役割を担えるように、受け入れ専門学校が産学連携を構築している企業の視察も行い、企業との交流、提携も検討した。

## (3) 国内日本語学校への専修学校留学生の職業教育の理解促進

現在、日本の留学生受け入れが大きく変化をしてきている。量的に拡大していることはもちろん、受け入れの対象国も大きく変化をしてきている。とりわけベトナムを中心としたASEAN諸国、ネパールなどの国の受け入れが急増してきている。専門学校の業界としてもこの受け入れの対策を実施してきているところではあるが、多くの課題は日本語学校と共通している。また新しいこれらの地域の留学生は専門学校への志願者も多い。日本就職への期待感が高く、また地域産業の要望も高い。よって今年度は、従来実施してきている専修学校職業教育の普及の観点での専門学校の授業を日本語学校で実施するという「出前授業」を推進した。さらに専門学校と日本語学校との連携強化を図るため、共通の課題をテーマに「研修会」を実施した。

## 3-A. 日本語学校、専門学校の受け入れ担当者向け研修会の実施

日本語学校、専門学校の共通の課題となっている非漢字圏留学生の日本語教育の方法論・質向上、生活指導（アルバイト、防犯）、在籍管理をテーマに、二つの学校群の留学生受け入れ担当者研修会を実施した。研修をより効果的に実施するため、全体の研修とテーマ別検討・交流会の組み合わせとして実施。同時に専門学校の職業教育の内容を普及させる観点での「出前授業」の案内を行った。

## 3-B. 「出前授業」パンフレットの作成と「出前授業」の日本語学校への普及

日本語学校在籍者に専門学校の授業を理解していただくための「出前授業メニューの告知パンフ」を前年に引き続き作成した。

同取り組みは、とりもなおさず専門学校の枠を集めた職業教育の魅力の発信であるので、ホームページでの告知や研修会での告知など、その広報活動を強化し、「出前授業」を日本語学校へ普及するように努めた。

## (4) 留学生採用意欲を持つ中小企業と専修学校との連携事業

### 4-A. 留学生採用企業交流会の実施

今年度も大阪商工会議所の協力を得て、約5,000件の企業に向けて案内を行った。ここ数年、行政からの積極的な参加を得られていたが、今回は同日、同時時間帯に近畿経済産業局主催の海外人材向けのセミナーが実施されており、これまでのような参加は望めなかった。行政からの参加は昨年を下回る結果となったが、若干数であれ企業からの参加が増えたことは、開催趣旨として成功裏に終わったと考えている。

また、昨年度より導入した「留学生職業人育成ガイド」をテキストとしてプログラムの中で使用することについても継続とし、好評を得ることが出来た。今後は、このような形で、事業間隔たり無く、横の繋がりで一貫性を持たせることを各事業で展開していくよう配慮していくことが望まれる。とりわけ就労ビ



ザ手続き関係の内容については、企業受けが良かったので、他にも企業が望んでいることも加味していくことが出来れば、良いものになっていくであろう。このような発見も、別事業で活用することで出てきたことでもある。

同じく、昨年度から取り入れた試みとしての、留学生による就活、就労体験談についても、企業からの評価が高かった。日頃、聴くことのできない話の内容であったからか、現在、外国人労働者を雇用している企業においても、これから外国人の雇用を考えている企業にとっても、興味のあるところであったようだ。

加えて、今回は、昨今言われている「インバウンド」ということにも焦点を当て、外国人観光客を多く集客している大阪市内のホテルでの取り組みについても講演いただいたが、こちらも予想以上の好評価であった。とりわけ、参加企業の3割強を占めるサービス業の方々にとっては、経営的な部分についても参考となる事柄が多く、メモを取られている姿が多く見てとれた。

グループディスカッションにおいては交流会の取り組み当初より実施しているが、相変わらず、他企業の話が聞けることによる情報交換の場として、揺るぎないプログラムの一つになっていることも再確認できた。

昨年度の報告の中で、今後の課題としていた“交流会の存在を周知徹底する”という点においては、まだまだ認知不足は否めない。大阪商工会議所との連携で、より多くの企業に知ってもらえる方策を、改めて考え、実施することが急務と考える。

#### 4 - B. 専修学校職業教育普及のための外国人留学生職業人育成ガイドの作成

留学生職業人育成ガイドは度重なる改善を図り、内容・質共に充実した、わかりやすい冊子としての評価を得ている。専門学校進学を希望する留学生への指導に欠かせないツールとして国内外の日本語教育機関に利用していただいているばかりでなく、留学生採用実績のある企業や、これから留学生を採用しようと検討されている企業の方々に、留学生の受け入れから卒業、就職までの具体的な流れを理解する重要な情報源として活用されている。

昨年はASEAN 諸国への進出を目指す企業が目立ち、積極的に留学生採用を検討する企業の増加が顕著であったため、卒業生紹介ページの情報更新の他、外国人留学生インターンシップ受け入れ企業の声や外国人留学生採用企業の声の欄を設けたり、「外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識」のページを新たに追加したりするなど、企業の留学生採用担当者の積極的な活用を念頭に置いた冊子作りを目指した。

海外進出を検討する企業が増え、さらにインバウンド等の影響により留学生の採用増が今後も見込まれる現状を受け、職業人育成ガイドの存在意義をさらに高める必要がある。このため、日本語教育機関や留学生採用企業にとっての有益な利用しやすい情報源として活用していただけるよう、構成の見直し、表現の改善、日本語教育機関の情報掲載校の増加等を図っていく必要がある。

#### 6. 委託事業の成果

今年度の事業は、大専各が過去6年間にわたり「関西型留学生就職支援基盤の構築事業」、「関西型専門学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」において推進してきた成果を受けて、下記の各事業に取り組み、専門学校留学生の日本就職の推進事業を新しい段階へと導くことができた。

具体的には、日本の専門学校での留学生への職業教育の質の高さを国内外へ普及することができ、WEBコンテンツの充実、海外拠点整備、日本語学校連携事業、企業交流会という事業を通して、一層のプレゼンスを得ることに成功した。

留学生受け入れは、質的にも量的にも新たな段階が始まっており、それゆえ求められる課題も多様で複雑になっている。大専各がこの6年を通して得たネットワーク、スキームがその課題解決の土台として展開力を持っているがゆえに、よりプレゼンスを高めることができたといえる。送り出し機関(日本語学校)、就職受け入れ機関(企業)が、それぞれ課題をもって今年度の事業に参画していただけたこと、このネットワークを活用して課題解決の場として位置付けて各事業に協力していただけたことが大変な成果であった。

## 7. 今後への提言

### (1) 次年度以降における課題

次年度以降の課題としては、上記の成果と個別事業での実施成果と数年間取り組んだ事業成果全体を踏まえ、今一度原点に立ち戻り全体像を整理し直すこと、専門学校全体として各分野でのニーズと課題を再点検して、必要とされる課題解決のための重点的、集中的な取り組みに転換していくことが求められています。具体的には以下のような課題解決が求められています。

- 1) 留学生の日本就職支援を文部科学省の事業受託で長く実施してきた、留学生支援の項目や必要なスキルや知識については、採用側と学校側とでの一定の共有が進んでいます。また企業のASEAN進出の本格化や、近年の外国人観光客の急速な増加に伴うインバウンド事業でのサービス部門での留学生の日本就職が大きく前進しています。また介護分野も含めたこれまでにない新たな分野での留学生の日本就職が始まろうとしています。また採用側もこれまでの受け入れの初期段階から、受け入れた人材を長期的にどう育成・活用するかという本格的な課題に面しています。量と質の二つの面で留学生の日本就職は新たな段階に突入しているといえます。そのためTCE財団で取り組まれている新たな企業ニーズ調査、専門学校での留学生受入全国調査の結果を踏まえ、今一度留学生就職支援スキーム全体を見直す必要があります。課題解決型の産官学ネットワークの形成、新たな分野就職と非漢字圏対応を取り入れた留学生職業教育の深化が求められています。
- 2) 上記の観点から出口としての企業側のニーズを把握し、専門学校での留学生教育の質保証に再度見つけ直すとともに、これに直結して入り口としての留学生の受け入れについても海外及び国内の送り出し機関と連携した対策が重要です。ベトナムを中心とした非漢字圏の留学生受け入れは、日本語学校において大量の受け入れが進み、現在専門学校入学に押し寄せています。しかし非漢字圏の漢字教育やアルバイトと勉学の両立などの十分に解決されないままの受け入れで、極めて低い日本語力しか全体として習得できていないという課題が存在します。これまでの東アジアの漢字圏を中心とした語学教育と専門教育の在り方が問われています。その意味で国内外の留学生送り出し機関との強い連携と対策により円滑な受け入れを進めるとともに、非漢字圏の学生の語学教育と専門教育の在り方について上記の質保証の観点も含めて、日本語学校、現地教育機関などの送り出し教育機関と連携して、新たに開発し、普及する必要があります。
- 3) 日本の専門学校における職業教育の質の高さは、私たちはこれまでも普及に努めてきましたが、まだまだ十分に理解されているとは言えません。海外においては専門学校の職業教育と一般的な職業訓練との区別の認識も広まっていません。国内外の教育機関や出口となる企業に次年度以降も継続的に日本の専門学校制度と職業教育の質の高さを訴求することが極めて重要であると考えます。そのためにWEB活用、企業との交流会、啓発冊子の配布などの事業を継続的に実施する必要があります。

### (2) 今後への5つの提言

留学生に対する職業教育の質の高さと産官学の強い絆を持つ私たち関西の専修学校は、これまでの成果をより推進するため、重点的な施策の実現、新たな課題の解決をリードするべき立場にあると自負している。そのため、今年度は以下の提言を、行政、業界団体、産業界へ行う。

**提言 1 非漢字圏の多様な文化を持つ留学生の受入れ体制の整備・拡充を。**

**提言 2 留学生を日本に引き付ける日本の魅力と専修学校の職業教育の魅力を世界へ発信。**

**提言 3 非漢字圏の日本語教育、留学生基礎力の拡充など、専修学校の留学生職業教育の深化と普及を。**

**提言 4 留学生就職支援基盤の充実により専修学校留学生の更なる就職促進を。**

**提言 5 専門学校の各分野留学生の日本就職の制限となっている「在留資格制度」の早期の改定と弾力的な運用を！**

## 第2章：事業別成果報告

### 1. WEBサイトを活用した国内・海外への留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信

#### 1-A. WEB上での留学情報・職業教育の発信情報の整備、教育コンテンツの発信

##### 1. 目的・ねらい等

WEB上でのワンストップサービスを目指し構築した国内・海外向け留学・就職支援サイト＝大専各留学生支援サイトのコンテンツの充実により、活性化を推進する。

現在、同サイトでは「日本留学を目指す人」「留学生送り出し機関」「企業」の多方面にむけた情報発信をするプラットフォームとして活用を開始しているが、このサイトをより活性化させる目的で、最新の情報をサイトにアップできる仕組みを検討し、サイトの充実と活性化で「関西」と「専門学校職業教育」の普及に努める。また、同サイトにおいて本事業の告知・周知等を一層高め、国内外への情報発信に努める。

##### 2. 関連して行った事業名

「4-B 専修学校校職業教育普及のための外国人留学生職業人育成ガイドの作成」

##### 3. 実施結果

今年度は、サイトの活性化を目的に、スマートフォン対応を積極的に行った。

サイトは留学生職業人育成ガイドとの連携を基本としデータ等の更新を行うとともに、スマートフォン対応を考慮して、サイトの構成を見直した。

また、今年度も新規コンテンツ日本語トレーニングテスト 慣用句編を作成するとともに、昨年度まで作成してきた既存のE-learningコンテンツと合わせ、すべてのコンテンツをスマートフォン対応とした。

さらに、今年度も、留学生基礎力教材等の既存コンテンツ、新規・既存のE-learningコンテンツ、今年度版の留学生職業人育成ガイド、出前授業メニュー等がダウンロードできるようにするとともに、各種ニュース発信機能、交流広場(SNS)は維持し、より魅力あるサイト構築を行った。ただし、留学生基礎力学習用の教材を提供する教材提供サービスについてはその対象者を考え、PCサイトのみの対応とした。

##### <サイト利用状況>

大専各留学生支援サイト <http://www.daisen-ryugaku.com/>

対象期間：2015年9月1日～2016年2月22日現在

(カッコ内は2014年9月1日～2015年2月22日実績)

訪問数 4,967 (3,762)

ユーザー数 3,424 (2,624)

ページビュー数 11,205 (9,217)

##### <今年度の主な作業、作成コンテンツ等>

- E-learningコンテンツ新規作成(日本語トレーニングテスト 慣用句編)
- 2015年度版サイトの作成(今年度の職業人育成ガイド内容に合わせてサイト内のデータ、図表、コメント、レイアウトを更新)
- スマートフォンへの対応

##### <ダウンロードサービスコンテンツ>

平成27年度版 留学生職業人育成ガイド(PDF)

平成27年度版 出前授業メニュー(PDF)

教材提供サービス(初級・中級)(PDF、Word)

#### 4. 当初目的の達成状況

今年度は事業のスタート自体が遅かったが、比較的早くコンテンツの整理、新規コンテンツの作成・実装が出来たこともあり、サイトへのアクセス数、ページビュー数は昨年度より増加し、サイトの活性化は図れたと考えられる。また、活性化に大きく寄与すると期待されるスマートフォンへ対応したサイト構築は、実質的な運用開始が遅かったため数値的に確認することは出来なかったが、国内外の留学生への情報発信サイトの充実が出来たと考える。

#### 5. 成果

今年度は、サイトならびにE-learning コンテンツの全面的なスマートフォン対応を進めた。

サイトは平成27年度版の外国人留学生職業人育成ガイドを基本としコメント、データ等の更新を行うとともに、E-learning コンテンツではビジネス日本語トレーニングテスト(慣用句編)を追加作成した。

昨年度の同時期よりサイトへのアクセス数、ユーザー数、ページビュー数とも確実に増加しておりサイトに対する認識が定着してきていることが確認できた。

#### 6. 成果物

平成27年度大専各留学生支援サイト(スマホ対応)

<WEB上の新規教育コンテンツ>(スマホ対応)

ビジネス日本語トレーニングテスト(慣用句編)

<新規ダウンロードサービスコンテンツ>

平成27年度留学生職業人育成ガイド(PDF)

平成27年度出前授業メニュー(PDF)

<WEB上の既存教育コンテンツ>(スマホ対応)

E-learningコンテンツ(サンプル例参照)

ビジネス日本語トレーニングテスト(敬語編、挨拶編、ビジネスマナー編)

就職支援チェックテスト 面接編

ビジネス日本語能力テスト(聴解、読解)

交流広場(SNS)

<継続使用の既存コンテンツ>

ニュース・セミナー情報

教材提供サービス(初級・中級)(PDF、Word)(PCサイトのみ対応)

#### 7. 次年度以降における課題・展開

今年度は、サイトならびにE-learning コンテンツのスマートフォン対応を進めた。

また、コンテンツ充実に向けE-learning コンテンツの追加も行った。しかし、まだまだコンテンツの充実が必要であるし、このサイトの認知度をより向上させ、活性化させていくためには、今年度同様、適宜コンテンツ等の追加・更新を行うとともに新鮮な情報発信を継続することも必要である。

現在、サイト内の言語は日本語のみであり、海外に対しての情報発信サイトを目指すためには多言語化が欠かせない課題であることは変わらない。

このサイトをWEB上でのワンストップサービスを目指した国内・海外向け留学・就職支援サイトとしていくためには、次年度以降も継続的に運営していくことが必要である。

さらに、この様なサイトの性質から見て、今回の様に研究委託費に頼るだけでなく、自律的に管理・運営していくことが出来る体制・運営方法を検討することも引き続き重要な課題である。

8. 実施資料 【1-A. 事業の参考資料】 E-learning の1例

8-1 E-learning のトップ画面

## 問題集リスト

 <p><b>ビジネス 日本語 トレーニング テスト 慣用句</b></p>	ビジネス日本語トレーニングテスト 慣用句 編 (2015.12.23版)	 <p><b>ビジネス 日本語 トレーニング テスト ビジネスマナー</b></p>	ビジネス日本語トレーニングテスト ビジネスマナー 編 (2015.03.10版)
 <p><b>就職支援 チェック テスト 面接編</b></p>	就職支援チェックテスト 面接編 (2015.03.10版)	 <p><b>ビジネス 日本語 トレーニング テスト 敬語編</b></p>	ビジネス日本語トレーニングテスト 敬語編 (2014.12.11版)
 <p><b>ビジネス 日本語 トレーニング テスト 挨拶編</b></p>	ビジネス日本語トレーニングテスト 挨拶編 (2014.12.11版)	 <p><b>ビジネス日本語能力 テスト聴解問題</b></p>	ビジネス日本語能力 テスト聴解問題 (2014.02.26版)
 <p><b>ビジネス日本語能力 テスト読解</b></p>	ビジネス日本語能力 テスト読解 (2014.02.03版)		

8-2 ビジネス日本語トレーニングテスト（慣用句編）例

大専各eラーニング

ビジネス日本語トレーニングテスト 慣用句 編 残り時間

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

設問 1 配点:5点

書類を整理しろって言われたけれど、どこから\_\_\_\_\_いいかわからないよ。

解答 ビジネス日本語トレーニングテスト 慣用句 回答 (単一選択)

<input type="radio"/> 1. 手を抜いて	<input type="radio"/> 2. 手を付けて
<input checked="" type="radio"/> 3. 手を差し伸べて	<input type="radio"/> 4. 手を広げて

[▶ 回答する](#)

「3. 手を差し伸べて」と回答した場合

問1. 設問1 ✕

不正解

正解は...

「手を付ける」は「始める」という意味です。「作業に手を付ける」のように使います。

「2. 手を付けて」と回答した場合

問1. 設問1 ✕

正解

正解は...

「手を付ける」は「始める」という意味です。「作業に手を付ける」のように使います。

大専各eラーニング

### ビジネス日本語能力テスト聴解問題

残り時間

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

9番 配点:5点

9番



0:00:00

解答 回答を一つえらんでください (唯一正解)

<input type="radio"/> 1. の答え	<input type="radio"/> 2. の答え
<input type="radio"/> 3. の答え	<input type="radio"/> 4. の答え

▶ 回答する

## 2. 専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備

昨年度より海外とのネットワーク構築と拠点整備を、現在急激に日本留学生数が増加しているベトナムに焦点を当てて取り組んだ。この結果としてベトナムの大学・短期大学と日本の専門学校が直接連携することにより、日本就職までの秩序だった受け入れを推進するフローモデルを作ることができたが、事業としてまだ途上にある。

今年度は、昨年度の成果のあった日越職業教育交流をより一層広げ、①海外高等教育機関への日本の専門学校の職業教育の内容、日本留学の状況と条件などの重要情報をより一層周知する②海外送り出し機関との協定受け入れのプラットフォームの構築③インターンシップ、単位交換等も含めた職業教育連携モデルの構築④今後予想される介護分野での人材受け入れの前段階として両国の教育交流に取り組んだ。

### 2-A. 現地職業教育機関とのネットワークの充実

#### 1. 目的・ねらい等

昨年度構築できたベトナム現地における大学・短期大学・高校・日本語学校とのネットワークの一層の充実を図り、このネットワークが日越職業教育交流のプラットフォームになるよう、現地教育機関に昨年度の成果を周知するとともに、日本の専修学校の内容を理解していただき、留学送り出しから専修学校への入学、日本就職までの円滑で秩序だった流れの整備を双方の協定交流によって実現するモデルを訴求した。但し本年度は本事業の開始の時期と予算の関係で日本側の専門学校が直接ベトナムを訪れ交流する形はとらず、現地業者へ委託しての事業成果の普及と2-B事業に繋がる日本招へいの活動にとどまった。

#### 2. 関連して行った事業名

「2-B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」

< A) 介護系 > ※3以降は、A) 介護系とB) 服飾系/C) 建設・IT系の分野に分けて報告を記載しています。

#### 3. 実施内容< A) 介護系 >

##### (1) 招へい決定校(来日招へい校、視察受入校)

###### 【ベトナム・来日招へい校】

- ①ハノイ医科大学
- ②ハノイ医療短期大学
- ③ファムゴックタック医科大学

###### 【日本・視察受入校】

- ①関西社会福祉専門学校
- ②近畿社会福祉専門学校

##### (2) 実施内容

###### 1) 趣旨:

ベトナムの看護系大学・短期大学に、大専各の看護系・介護系専門学校が行っている職業教育内容を、受入専門学校への視察を通し肌で理解していただいた上で、連携の可能性を探り、最終的にベトナム人学生の日本への留学～就職のための提携を目指す。そのため、ベトナム現地の看護・介護系職業教育機関の現状把握、大専各の受入専門学校の現状把握、ネットワーク構築の可能性を探ったうえで、ベトナムの看護・介護系大学・短期大学で提携に関心を持つ責任者を日本に招へいする。

(現地調整等: G. A. コンサルタンツ株が担当)



2) ネットワーク構築の流れ：

- ①ベトナムにおける介護看護系学校をリサーチ・選定
- ②選定した介護看護系学校に現状、連携希望有無をヒアリング
- ③招へい校の選択
- ④視察受入校の検討・選定
- ⑤招へい校への打診・交渉
- ⑥招へい校、視察受入校 決定

3) 候補・検討校

【ベトナム・来日招へい校 候補6校のうち招へい決定校は②、⑤、⑥の3校】

- ①グエンタットタン大学／②ファムゴックタック医科大学／③ホーチミン医薬大学／④ホンバン国際大学／⑤ハノイ医療短期大学／⑥ハノイ医科大学

【日本・視察受入校 候補4校のうち視察受入決定校は①、②の2校】

- ①関西社会福祉専門学校／②近畿社会福祉専門学校／③大阪社会福祉専門学校／④大阪総合福祉専門学校

4.当初目標の達成状況＜ A) 介護系 ＞

現地調整を担当したG. A. コンサルタンツ（株）のリサーチと選定作業を通し、当初目標に合致した大学・短期大学の招へいすることができた。また、受入専門学校についても、ベトナムの大学・短期大学とのネットワーク構築及び連携に強い関心を持たれている学校を最終的に選定し、参加して頂くことができた。

5.成果＜ A) 介護系 ＞

招へい3校はそれぞれに大専各の看護・介護系専門学校の職業教育内容の現状に強い興味を持ち、連携、提携についても問題点がどこにあるかを含め、連携、提携について積極的に考えている。この招へいを通し、お互いの教育内容の理解が深まり、問題解決への道筋、具体的なネットワーク構築、職業教育連携モデル実現への土台を整えることができた。また、「2 - B.現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」が実現した。

6.次年度以降における課題・展開＜ A) 介護系 ＞

看護・介護系専門学校は今後ますますベトナムをはじめとする ASEAN 諸国との連携が必要になってくる。今年度は招へい校3校と受入校2校の参加を得たが、このグローバル化の流れの中では、招へい校及び大専各の専門学校により多くの参加を募り、職業教育のグローバル化の一つのモデルとして確立していくことが重要である。

＜ B) 服飾系／C) 建設・IT系 ＞

3. 実施内容

＜B) 服飾系 ＞

(1) 参加決定校（来日招へい校、視察受入校）

【ベトナム・来日招へい校】

- ①ヒューテック大学

【日本・視察受入】

- ①上田学園（上田安子服飾専門学校）

## <C) 建設・IT系 >

### (1) 参加決定校 (来日招へい校、視察受入校)

#### 【ベトナム・来日招へい校】

①ホアビン経済技術短期大学

#### 【日本・視察受入】

①修成建設専門学校

②清風情報工科学院

## 4. 当初目的の達成状況 < B) 服飾系/C) 建設・IT系 >

本年度は、昨年に引き続いてベトナムとの交流を継続したが、時期的にも日本側の専門学校がベトナムへ直接出向いての活動は実施できず、日本への招へいと視察受け入れの前段階の事業として広報に徹した。結果として2-Bの事業の繋がり、上記の3分野(服飾系、建設・IT系)専門学校の交流を目的としたベトナムの高等教育機関の日本への招へいが実現できた。

## 5. 成果 < B) 服飾系/C) 建設・IT系 >

「2-B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」が実現した。

## 6. 次年度以降における課題・展開 < B) 服飾系/C) 建設・IT系 >

課題としては、このような海外市場に目を向けて積極的に学生を受け入れようとするより多くの日本側学校の参加を募ること、また、単発の交流に終わるのではなく、いかに継続的な交流を実施していくかを検討していくことが重要かと思われる。

今後の展開としては、日本の専門学校とベトナムの教育機関の関係性が益々活性化していくためにも、今回参加した日越の学校間で先例となるような提携実績を作り、それを一つの良い事例として提示し、広げていくことが重要である。その結果として現在起こっているベトナム人留学生の受け入れの課題解決と、ベトナム人留学生の日本受け入れから日本企業就職までのワンストップサービスを実現することが望まれる。またベトナムで実施した交流事業をどのように他の国へ広げていくかも検討しなければならない。

## 2-B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入

### 1. 目的・ねらい等

昨年同様に、ベトナムでの交流事業において交流した大学・短期大学・高校・日本語学校の担当者を日本へ招へいし、大阪の専修学校の視察受け入れを行い、専修学校の現状、日本留学の受入の現状(生活環境)、専修学校留学生採用企業など実態を把握し、日本側ニーズとベトナム側ニーズの双方の理解促進を図った。招へいに当たっては、多様な分野の交流のために、日本側で服飾分野、工業分野(建設、IT)とまた将来に予想される介護分野の専門学校との交流を企画・実施した。

この招へい事業で形成されるネットワークが、今後、日越の学校協定推進のためのプラットフォームの役割を担えるように、受け入れ専門学校が産学連携を構築している企業の視察もを行い、企業との交流、提携も検討した。

### 2. 関連して行った事業名

2-A. 現地職業教育機関とのネットワークの充実

### 3. 実施結果

(1) 日程：ベトナム教育機関招へい 平成28年1月26日(火)～30日(土)

- 1月26日(火) 視察団来日→歓迎セレモニー
- 1月27日(水) 視察
- 1月28日(木) 視察
- 1月29日(金) 打ち合わせ、自由行動
- 1月30日(土) 帰国

(2) 来日メンバー〔介護系3団体、その他2団体 7名(内1名は自費来日)〕

#### 【1. 介護系】

- ハノイ医科大学 VU THI HUONG (ヴー ティ フォン) 氏
- ハノイ医療短期大学 TA VAN BINH (ター ヴァン ビン) 氏
- フアムゴックタック医学大学 CAO VAN THINH (カオ ヴァン ティン) 氏

#### 【2. その他分野(服飾系/建設・IT系)】

- ヒューテック大学 NGUYEN THI NGOC QUYEN (グエン ティ ゴック クエン) 氏
- ヒューテック大学 TRAN THI HONG MY (チャン ティ ホン ミ) 氏
- ホアビン経済技術短期大学 NGUYEN ANH TON (グエン アン トン) 氏
- ホアビン経済技術短期大学 NGUYEN THI THU THUY (グエン ティ トウ トウイ) 氏

(3) 事業担当校(5校)

#### 【1. 介護系】

- ①近畿社会福祉専門学校
- ②関西社会福祉専門学校

#### 【2. 服飾系】

- ①上田学園(上田安子服飾専門学校)

#### 【3. 建設・IT系】

- ①修成建設専門学校
- ②清風情報工科学院

(4) 実施内容

1) 「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための日本招へいと視察受入」 歓迎セレモニー

【主 催】 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

【日 時】 平成 28 年 1 月 26 日 (火) セレモニー 16:30~18:00

【会 場】 ホテルイルクオーレなんば 1 階 (セレモニー)

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 1-15-15 Tel.06-6647-1900

時 間	セレモニープログラム	備考
16:20	<u>ベトナム教育機関会場入り</u>	司会： エール学園 崎村
16:30~16:35 (通訳込 5 分)	セレモニー開会 司会者開会のことば	逐次通訳： 1 名
16:35~16:55 (通訳込 15 分)	< 1. 主催者あいさつ > (一社)大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長 <small>はせがわ けいいち</small> 長谷川 恵一	
16:55~17:10 (通訳込 10 分)	< 2. ベトナム教育機関来賓者ご紹介 > ・司会者より紹介 ハノイ医科大学/ハノイ医療短期大学/ファムゴッタック医学大学/ ヒューテック大学/ホアビン経済技術短期大学	
17:10~17:50 (通訳込 35 分)	< 3. 専門学校紹介 > ・司会者より紹介及び学校紹介 ・担当校 (関西社会福祉専門学校、近畿社会福祉専門学校、上田学園、 清風情報工科学院、修成建設専門学校) ※1 校 5 分程度 ・その他専門学校 (瓶井学園、大阪バ イゲ ャル専門学校)	
17:50~18:00 (通訳込 5 分)	< 4. 来日視察スケジュール > ・司会者よりご紹介 ・スケジュール説明等 終了	

(5) 教育機関視察の実施

8. 実施資料に学校別報告書を掲載

4. 当初目的の達成状況

2-Aの事業の結果として上記のように3分野(介護系、服飾系、建設・IT系)のベトナムの高等教育機関と大阪府内の専門学校との交流が実現できた。また受け入れの中心となった専門学校だけでなく、セレモニーなどを通して、広く大阪府内の専門学校との意見交換も実現できた。

5. 成果

2-A 事業と連携して一連の事業として実施した「専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外との ネットワーク構築と拠点整備」は、ネットワークの構築と拠点整備の具体的なで効果的な在り方を示せたと考えている。昨年と継続して同事業を行ったことで、このことがより深化できた。すなわち、ベトナム教育機関に日本の専門学校における職業教育の質の高さやアカデミック教育と職業教育の複線型の教育への理解、複線型の留学交流を理解いただけたこと、日本企業就職において専門学校が果たしている役割について深く理解いただくことができた。また今年新たに介護分野での交流が実現できた。

介護分野での人材の受け入れは日越の高い関心事項となっており、留学生受け入れの前段階で、先に交流を進め理解を進めたことは意義深かった。

#### 6. 成果物

上記の日本招へいと専門学校視察が実現し、交流ができたこと。

#### 7. 次年度以降における課題・展開

「専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備」は、昨年度と今年度の事業でベトナムにおいてネットワーク構築のありようを示すことができた。とくに現地の送り出し機関となる高等教育機関に日本の専門学校の職業教育を理解していただくための日本招へいの活動は、今後同事業を広げるにあたってのモデルとなることができた。次年度以降における課題と展開では以下のことがあげられる。

- ①今回の交流の結果として実現している学校間交流、提携の協議として出てきている諸課題を両国の教育行政、産業界を巻き込んだ共通の課題として取り組み課題解決にあたること。その結果として実現した留学交流をモデルとして広く両国の教育機関に啓発すること。
- ②事業の成果をどう発展、継続させるかを検討する必要がある。そのためにも大専各として進めること、個別専門学校の国際交流事業として進めることの区分けの検討。また個別専門学校の成果の団体へのフィードバックを継続的に実施すること。また、ベトナムで実現したこのモデルをどのように他国へ広げるかを検討する必要がある。

8. 実施資料

(1) セレモニー参加者リスト

「ベトナム現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための日本招へいと視察受入」  
1/26ウェルカムセレモニー・1/29各校参加者

No.	氏名	学校名
1	VU THI HUONG (ヴー ティ フォン)	ハノイ医科大学
2	TA VAN BINH (ター ヴァン ビン)	ハノイ医療短期大学
3	CAO VAN THINH (カオ ヴァン ティン)	ファムゴックタック医学大学
4	NGUYEN THI NGOC QUYEN (グエン ティ ゴック クエン)	ヒューテック大学
5	TRAN THI HONG MY (チャン ティ ホン ミ)	ヒューテック大学
6	NGUYEN ANH TON (グエン アン トン)	ホアビン経済技術短期大学
7	NGUYEN THI THU THUY (グエン ティ トウ トウイ)	ホアビン経済技術短期大学

計7名

No.	氏名	学校名
1	長谷川 恵一	エール学園
2	崎村 真	
3	萩原 大作	
4	グエン ディン ダイ	
5	上田 哲也	上田学園
6	上田 太郎	
7	ファン ティ カム トウ	
8	平岡 憲人	清風情報工科学院
9	レ ティ オアイン キュー	
10	山下 裕貴	修成建設専門学校
11	三枝 省三	
12	堤下 隆司	
13	五十嵐 世騰	
14	塩田 久及	
15	山根 啓	関西社会福祉専門学校
16	山本 容平	
17	小川 和夫	近畿社会福祉専門学校
18	岡田 智幸	
19	瓶井 修	瓶井学園
20	ファン ティ ヴィ	
21	和田 康太郎	
22	柴田 聖子	大阪バイオメディカル専門学校
23	島崎 美鈴	
24	ヴ ホワイ リン	
25	白川 啓子	大阪YWCA専門学校
26	勝間 祥子	大阪府専修学校各種学校連合会
27	安藤 昌明	G.A.コンサルタンツ株式会社

計27名

(2) 視察報告書

「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」  
視察受入校 報告書【介護】

2016年1月27日(水)		
1	見学先	近畿社会福祉専門学校／大阪バイオメディカル専門学校
	スケジュール	①10:00到着 奈良東病院グループ施設 ふれあいの里見学 ②12:00～ 出発 ③12:30～ 昼食・休憩 ④14:00到着 近畿社会福祉専門学校見学 ⑤15:00～ 出発 ⑥15:30到着 大阪バイオメディカル専門学校見学 ⑦16:30 終了
2016年1月28日(木)		
2	見学先	関西社会福祉専門学校／学校法人瓶井学園
	スケジュール	①9:30到着 関西社会福祉専門学校見学 ②10:30～ 帝塚山リハビリテーション病院見学 ③11:30～ グレースマサコーヌ阪南町見学 ④12:45～ 出発 ⑤13:15到着 学校法人瓶井学園 本部へ⇒昼食 ⑥14:30～ 瓶井学園見学 ⑦16:30 終了

①近畿社会福祉専門学校 報告

1. 専門学校職業教育理解への成果

- ・新校舎のため介護福祉士の養成校として設備がまだ搬入されていなかったのが残念である。
- ・あまり時間がなく、カリキュラム等理解が難しかったと想像する。
- ・現行の卒業の制度と平成 29 年度以降の制度の違いや新留学生制度のことについて質疑応答が活発になったことは成果があった。
- ・環境の良さに驚かれていた。

2. 今後の展望と課題

- ・法案が成立すれば、留学生も卒業後就職でき、両国にとっても有意義である。
- ・語学の習得や文化の理解がどこまでできるかが、国家試験合格の大きな鍵となるので、受け入れ側の教育体制と本人の努力がどこまであるかが課題。
- ・費用や生活管理の課題が大きい。

②関西社会福祉専門学校 報告

1. 専門学校職業教育理解への成果

ベトナムとの文化の違いはあるものの、介護職での賃金についてや、学校、病院、施設での設備の理解は得られたものと思う。専門的教材の豊富さや、介護そのものについての理解も思っていた以上に興味を持ってもらえたと思う。

2. 今後の展望と課題

ベトナムの学生が定員の半数を占めるのも遠くない未来ではないかと思う。学校としては喜ばしいことであるが、その分生活指導等のリスクも大きくなるものと思う。  
非漢字圏で、英語もあまり通じないことが一番の課題であるが、日本語学校との連携や提携により解消するものと思う。

「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」  
視察受入協力校 報告書【介護】

①日本メディカル福祉専門学校

1. 専門学校職業教育理解への成果

医療・福祉について本学で学べる内容、福祉社会の仕組み、取得可能な資格など、日本の社会で仕事としての重要性を説明した。留学生が学ぶにあたっての必要とされる日本語レベル、また、職業教育を行うための環境、設備について、体験的に見学してもらうことで専門学校の職業教育の理解を深めていただいた。入学要件や就職状況、現状日本語学科で学んでいる学生についても多く質問をいただき、概ね福祉社会における留学生の活躍の有様をイメージしていただけたと思う。

2. 今後の展望と課題

取得できる資格及び仕事内容についての重要性は理解していただいたが、必要とされる日本語レベルについて、ハードルの高さを感じられていた。現地及び日本語学校での日本語教育の充実、学費面でのサポートが必要と考えられる。今回をきっかけに、福祉分野を目指す留学生が増加することを期待する。

②大阪バイオメディカル専門学校

1. 専門学校職業教育理解への成果

本校ではバイオ学科の紹介を行い、既にアジアの医療大学出身者が学び、少ないながらも就職実績もあること、日本での就職には知識、技術とともに人間力、特に留学生にとっては日本の会社組織で働く上での文化等も実習等を通して指導していることに対し好感触であった。

また、現在、本校校長が中心となり細胞の特許申請を行っており、その内容についてプレゼンも行ったところ、このようなハイレベルな研究がなされているとは思っても寄らなかったとお言葉もいただいた。また、別の先生からは、ベトナムのご自身の大学でもバイオ学科の教授が同じ着眼点で新しい細胞についての研究もしているの、その先生にも是非伝えるとお話をいただいた。

2. 今後の展望と課題

バイオ技術に関心を寄せていただき、それを学ぶためにはベトナムの大学内に日本語講師が常駐して日本語のベースを固めることが必要であるとの話になった。課題は、文系に比較してバイオの学費が高額で国立大学にいる学生にとって現時点ではハードルが高いとお話であった。

また、日本で最新機器を使って技術を学んでもベトナムではまだ設備が追いついていない実態があり、まずはベトナムのバイオの先生にご滞在いただき日本の専門学校のバイオ技術を実際にご理解いただくことから始め、今後のプランニングに進めていきたいと考えている。



「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」  
視察受入校 報告書【服飾】

1. 専門学校名： 学校法人上田学園 上田安子服飾専門学校
2. 記入者名： 上田学園 理事長 上田 哲也／国際化推進室 上田 太郎
3. 招へい教育機関について：
  - ①教育機関名：HUETECH 工科大学
  - ②教育機関の概要（生徒数、学部、特色等）：

学生数：約3万人

学部： 建築及び芸術学部、ファッション学科（今回来日の担当者所属）

特色： HUETECH は私立大学。産学連携、特に日本式の産学連携に力を入れている

- ③上記①の教育機関を選定した理由：

上田学園の各学科の技術、教育レベルは高いが、一方、ベトナムでは若い年代の層が厚いものの、より高度な教育供与により、現地大学による職業教育の充実が不可欠であり、そのために教員のレベル向上を狙いに、協力関係を構築したい。

HUETECH 大学と上田学園は教育理念や教育科目やカリキュラム等が似かよひ、互いに上記の足りない部分を補い合い、長期的な協力関係（既に金沢工業大学との間では産学連携のカリキュラム提供を受けて、学内に「日越産業大学<研究所>」を設置している）を確立し、産業構造の改善を目指す等、目的・利害が一致すると考えられる。

4. 視察行程：

①2016年1月27日（水）

時間	内容	目的
9:30～15:30	EXPOCITY LALAPORT 見学	日本のファッション市場視察
16:00～18:00	デジタルファッション株式会社	最先端のデジタルファッション技術視察

②2016年1月28日（木）

時間	内容	目的
10:00～11:00	上田安子服飾専門学校 校内見学、カリキュラム内容について意見交換	留学生の立場で視察、提携内容の精査
11:00～12:30	大阪総合デザイン専門学校見学	マンガ学科はHUETECH大学にもあるので視察
13:30～14:00	ワールド店舗（上田学園提携先）見学	産学連携の実例視察
15:00～16:30	大阪エンターテインメントデザイン専門学校 見学	充実した設備、施設の見学

5. 専門学校職業教育理解への成果

HUETECH 大学 が最も興味を持っていたのが上田学園とワールドとの提携関係であり、その取り組み、しくみの詳細説明を事前を受けた上で、実際の店舗を5軒訪問し、学生が実習している現場を見学した。産学連携の具体例を実際に目の当たりにして、感銘を受け、類似形態の産学連携教育システム導入を検討するものと思われる。

6. 今後の展望と課題

今後の展望： まずは教員の交流から始め、将来的にHUETECH 大学と上田学園でカリキュラムを共有出来る形での学生交流、留学生受け入れを目指す。

課題： 留学関連費用、語学。両国間の経済格差も否めない中、ベトナムの学生が日本に留学した際、決められた制約の中でどのように学費を捻出するか、経済的支援枠をどのように広げるか。夜間学科には留学生ビザが出ない等の問題。具体的な企業による奨学制度が必要であろう。

「**現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入**」  
**視察受入校 報告書【建設】**

1. 専門学校名：修成建設専門学校

2. 記入者名：山下 裕貴

3. 招へい教育機関について：

①教育機関名：ホアビン経済技術短期大学

②教育機関の概要（生徒数、学部、特色等）：

ホアビン省にある短期大学。2015年に経済系・技術系の職業教育機関2校が合併されて、短期大学に昇格した。学生数は15,000人。経済、農業に該当する学部を設置している。

③上記①の教育機関を選定した理由：

清風情報工科学院からの紹介。ホアビン省は首都ハノイより車で約2時間の場所にある。情報によれば、ホアビン省内で日本語教育を積極的に取り入れている教育機関はないため、今後の展開が見込まれると考えたため。

4. 視察行程：

①2016年1月27日（水）

時 間	内 容	目 的
14：30	来校	
14：30～15：30	学校紹介	教育内容を理解してもらう
15：30～16：30	施設見学	教育内容を理解してもらう
17：30～19：30	会食	懇親・意見交換

5. 専門学校職業教育理解への成果

学校紹介と施設見学を通して、一定の理解が得られたと感じる。特に本校は建設という建築・土木・造園という3分野の職業教育を行い、技術者として企業に就職できること、また、資格取得の重要性を強く説明した。修業年限が2年間という限られた中で、企業・地域と連携した教育を行っていることも大変興味をもたれたと感じる。

6. 今後の展望と課題

ホアビン経済技術短期大学では、まだ本格的な日本語教育が整備されていない。そのため、日本への留学を活性化させるためには日本語教育のノウハウ教授が必要である。本校では、その部分を担うことは出来ないが、建設という分野においてなぜ？日本留学するのか？日本企業で働くためには？といった目標・モチベーションに関する部分の役割を果たすことができるとあらためて実感した。但し、課題点としては、ホアビン省はハノイ・ホーチミンといった都市部ではないため、まだまだ世帯所得が低い。留学するベトナム大学生が、学業に専念できる環境を整えるためには、奨学金整備の充実が必要不可欠であり、技術者が不足している建設業界に働きかけ、企業が支給する奨学金制度なども具体的に模索していくことが重要である。

「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」  
視察受入校 報告書【IT】

1. 専門学校名：学校法人清風明育社 清風情報工科学院

2. 記入者名： 日本語科 土持直子 06-6657-2369

3. 招へい教育機関について：

①教育機関名：ホアビン技術経済短期大学

TRƯỜNG CAO ĐẲNG KINH TẾ- KỸ THUẬT HÒA BÌNH

②教育機関の概要（生徒数、学部、特色等）：

1. 生徒数

1974年から2000年：14.828人

2000年から今まで15.725人

2. 学部

短期大学

1. 経理系

2. 畜産系

3. 栽培技術系

専門（コース：02-03年）

1 企業経理

2 建設経理

3 行政経理

4 管理と農業営業

5 企業管理

6 農園管理

7 森資源管理

8 農村農業発展

9 IT応用

10 法律

11 事務行政

12 畜産業一獣医

13 林業

14 栽培

15 植物確保

16 農業助成

職業訓練

家畜畜産技術

家禽畜産技術

獣医

淡水養魚技術

栽培技術

盆栽・花を栽培技術

安全な野菜の栽培技術

キノコの栽培・増殖

植物確保・種子栽培技術  
 大学・短期大学に編入用  
 管理—マネージメント  
 農林技術  
 事務行政  
 経済—金融—経理

### 3. 特色

図書館の面積：506 m<sup>2</sup>  
 専攻用本：10000 冊  
 CD：486 枚  
 パソコン：25 台

運動場の面積：283,5 m<sup>2</sup>

会場の面積：462 m<sup>2</sup>

教育員数：75名（うち、博士：33名・大学：30名、他の専門師）

経済・畜産・農業に関する学問を体系的に教える短期大学。職業訓練も合わせて行っており、実践的な教育を目指す。

#### ③上記①の教育機関を選定した理由：

ホアビン技術経済短期大学と清風情報工科学院は、教育協力合意の締結に向け協議をすすめている。

実際に清風情報工科学院を見学し、教職員とも交流を持つことで、本校への理解を深めていただきたいという希望があった。また、大阪の雰囲気、住環境なども視察していただき、学生が日本に留学した時の生活イメージを持っていただきたいと考えた。

### 4. 視察行程：

#### ①2016年1月27日（水）

時間	内容	目的
9:20～9:40	清風高校訪問 理事長挨拶	清風グループの教育機関の紹介
10:00～14:00	清風情報工科学院 訪問 歓迎セレモニー・職員紹介 校内見学・授業見学・寮見学 ベトナム出身の学生と懇談 教育協力合意書の内容協議	本校の教育内容・設備・職員の紹介 学生の生活の紹介 ベトナム出身の学生に、日本留学についての率直な意見を聞いてもらう 合意書の細かい点のすり合わせ
14:30～17:30	修成建設専門学校 訪問 校内見学・施設見学	本校からの進学先のひとつである学校の紹介

#### ②2016年1月28日（木）

時間	内容	目的
9:30～12:30	関西社会福祉専門学校 訪問	本校からの進学先のひとつである学校の紹介
12:30～18:30	橿原神宮 訪問 正式参拝	日本の原点である神宮を正式参拝することで、日本の起源・信仰を感じてもらう。

## 5. 専門学校職業教育理解への成果

実際に本校を訪問し、授業の様子、寮の様子、学校の周りの様子を見ることで、日本留学の具体的なイメージをつかんでいただけた。教育協力合意についての話し合いも、「今見たことに関する質問」という形で、具体的な例を出し合いながら細かい点をすり合わせることができ、最終的な合意に向けて話し合いを大きく前進させることができた。

修成建設専門学校・関西社会福祉専門学校は、ともに本校の進学先として協力を密にしている学校である。将来的には本校日本語科の中に「建設コース」「介護コース」を作り、各分野でのプロを目指して来日する留学生を増やす計画がある。両校を見学することで、「日本語を学んだ先」のイメージを具体的に持ってもらうことができ、教育協力の合意にも弾みがついた。

## 6. 今後の展望と課題

教育協力合意は、現在細かい点の確認と、文書表現チェックの段階に入っており、2016年3月に、本校校長がベトナムを訪問する際に調印することで調整を進めている。

ホアビン技術短期大学からの訪問者2名は、今回の視察において、すべての訪問先を熱心に見学し、教育協力合意にかかわる点についての質問をするなど、訪問目的をしっかりと果たされた。非常に有意義な時間が過ごせた、と大変喜んでおられた。

今後は合意書に調印すると同時に、すぐに留学生の受け入れのための具体的な作業に入る予定である。早ければ、2016年10月期に第1期生を迎えたいと考えている。

本校としても、このように教育協力合意の話し合いがスムーズに進んだのは、今回の大阪府専修学校各種学校連合会主催の「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」に参画できたおかげであると、大変感謝している。

この交流を基盤に、今後ますます学校間の結びつきを深め、他の専修学校・各種学校とも連携をしながら、優秀な留学生の確保に努め、より良い進学先・就職先への送り出しを実現したいと考えている。

(3) 写真



「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための日本招へいと視察受入」 歓迎セレモニー  
(平成 28 年 1 月 26 日)



視察校：清風情報工科学院  
(平成 28 年 1 月 27 日)



視察校：修成建設専門学校  
(平成 28 年 1 月 27 日)



視察校：大阪バイオメディカル専門学校  
(平成 28 年 1 月 27 日)

### 3. 国内日本語学校への専修学校留学生の職業教育の理解促進

現在、日本の留学生受け入れが大きく変化をしてきている。量的に拡大していることはもちろん、受け入れの対象国も大きく変化をしてきている。とりわけベトナムを中心としたASEAN諸国、ネパールなどの国の受け入れが急増してきている。専門学校の業界としてもこの受け入れの対策を実施してきているところではあるが、多くの課題は日本語学校と共通している。また新しいこれらの地域の留学生は専門学校への志願者も多く、日本就職への期待感も高い。また地域産業の要望も高い。よって今年度は、従来実施してきている専修学校職業教育の普及の観点での専門学校の授業を日本語学校で実施するという「出前授業」を推進すべく、専門学校と日本語学校との連携強化を図るため、共通の課題をテーマに「研修会」を実施する。

#### 3-A. 日本語学校、専門学校の受け入れ担当者向け研修会の実施

##### 1. 目的・ねらい等

日本語学校、専門学校の共通の課題となっている非漢字圏留学生の日本語教育の方法論・質向上、生活指導（アルバイト、防犯）、在籍管理をテーマに、二つの学校群の留学生受け入れ担当者研修会を実施する。研修をより効果的に実施するため、全体の研修とテーマ別検討・交流会の組み合わせとして実施する。同時に専門学校の職業教育の内容を普及させる観点での「出前授業」の案内を行う。

##### 2. 関連して行った事業名

#### 3-B. 「出前授業」パンフレットの作成と「出前授業」の日本語学校への普及

##### (2) 実施プログラム

「日本語学校・専門学校の受け入れ担当者向け研修会」

- 1) 開催日：平成28年1月22日（金） 14：00～17：00
- 2) 会場：大阪私学会館（会議室301・302・303）
- 3) 参加人数85名（内訳：日本語学校48名／専門学校22名／  
講演者1名／留学生委員会等14名）

##### 4) 当日のプログラム

〔1. 開会の挨拶〕

（一社）大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長 長谷川 恵一

〔2. 講演〕

「ベトナムの教育（進学）事情について ー日本留学が人気の理由」

ECC国際外語専門学校 事務局 グェン テュイ リン 氏

〔3. グループワーク（意見交換会）〕

- ・テーマA『非漢字圏留学生の日本語教育方法論、及び質向上について』
- ・テーマB『在籍管理、生活指導（アルバイト・防犯）について』

〔4. 進学相談（ご希望者のみ）〕

- ・専門学校担当者による進学相談を実施いたします。

※会場内に懇談スペースを設けております。進学相談のほか、情報交換・懇談の場として自由にご利用ください。

##### 5) 当日配布資料

当日プログラム、アンケート

### 3. 当初目的の達成状況

以前に実施していた日本語学校の担当者と専門学校の担当者とが交流できる研修会では、年々参加者の減少傾向にあり、また3年ぶりの開催になる事から一抹の不安と、しかしながら2つの学校群が抱えているテーマを題した意見交換ができる研修会には、期待する所もあり、目標数値を取って高く設定し総数100名の参加者を見込んだ。その結果、研修会参加者数：85名（日本語学校：計48名、専門学校：計37名）という参加者数ではあったが、過年度の経緯や参加者のアンケート評価からも一端の成功を収めたものと思われる。

### 4. 成果

参加者数の数字だけでなく、研修会アンケートからもグループワーク（意見交換会）では、【日本語学校の担当者：とても役立つ（57.1%）・役立つ部分もあった（42.9%）計100%】・【専門学校の担当者：とても役立つ（85.0%）・役立つ部分もあった（15.0%）計100%】との回答があったことから、非漢字圏（特にベトナム人等の留学生）での課題に於ける意見交換が有意義であったことが証明された。

また、意見交換の中で日本語学校と専門学校の連携による『出前授業』の必要性も再認識して頂けた。

### 5. 次年度以降における課題・展開

同じく研修会アンケートからの意見や要望、ファシリテーターからの纏めでは、意見交換の時間を長くして欲しいと言った多くの声や他の学校の方との意見交換を希望すると言ったものがあり、次年度の課題として、グループワークの進行方法（例えば、ローテーションして、より多くの他校の担当者の意見が聞ける環境作りや自由懇談の時間設定）等を検討する必要がある。



6. 実施資料 (1) プログラム

平成 27 年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生就職アシスト事業」 関西型専修学校就職支援システム・拠点整備

「日本語学校・専門学校の受け入れ担当者向け研修会」

【主 催】 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会  
【日 時】 平成 28 年 1 月 22 日 (金) 14:00~17:00  
【会 場】 大阪私学会館 (会議室 301・302・303)

時 間	プログラム
13:30~14:00	受付 / 開場
14:00~14:10	<b>1. 開会の挨拶</b> 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長 長谷川 恵一
14:10~14:50	<b>2. 講 演</b> 「ベトナムの教育 (進学) 事情について —日本留学が人気の理由」 ECC国際外語専門学校 事務局 グェン テュイ リン 氏
14:50~15:00	休 憩 (10分)
15:00~16:00	<b>3. グループワーク (意見交換会)</b> ・テーマA 『非漢字圏留学生の日本語教育方法論、及び質向上について』 ・テーマB 『在籍管理、生活指導 (アルバイト・防犯) について』
16:00~17:00	<b>4. 進学相談 (ご希望者のみ)</b> ・専門学校担当者による進学相談を実施いたします。 ※会場内に懇談スペースを設けております。進学相談のほか、 情報交換・懇談の場として 自由にご利用ください。



(3) アンケート

平成 27 年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」

日本語学校・専門学校の受け入れ担当者向け研修会アンケート集計<①日本語学校、日本語学科>

【調査概要】調査日：平成 28 年 1 月 22 日（金）

○調査方法：会場にて配布、終了後に回収

○調査対象：研修会参加者 85 名（日本語学校、日本語学科 計 48 名）

○回収数：日本語学校、日本語学科 42 件

1. どちらかに☑チェックを記入してください。→日本語学校、日本語学科

2. 本研修会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	37	4	0	1	42
%	88.1	9.5	0	2.4	100.0

1)－②具体的に:8月頃(1名)、10月頃(2名)

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	36	0	5	1	42
%	85.7	0	11.9	2.4	100.0

2)－③具体的に:3時間ぐらいなら良い(1名)

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜講演＞「ベトナムの教育(進学)事情について ー日本留学が人気の理由」

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	12	25	1	2	0	2	42
%	28.6	59.5	2.4	4.8	0	4.8	100.1

2)①＜グループワーク＞(意見交換会)

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	24	18	0	0	0	0	42
%	57.1	42.9	0	0	0	0	100.0

2)②＜グループワーク＞(意見交換会) 2)－①で①か②を選択された方にお尋ねします。

「一番役に立つ内容」と思われた点をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

質問項目	①専門学校との意見交換	②日本語学校との意見交換	③その他	無回答・無効	合計
人数	10	21	3	8	42
%	23.8	50.0	7.1	19.0	99.9

2)③その他(具体的な内容)

- ・情報交換の場になった
- ・ファシリテーターの進行
- ・ベトナム人のベトナムでの生活

3)①<進学相談>に参加されましたか。

質問項目	①参加	②不参加	無回答・無効	合計
人数	13	22	7	42
%	30.9	52.4	16.7	100.1

3)②<進学相談>に参加された方は下記よりご感想、ご意見をお聞かせください。

質問項目	①とても役に たった	②役立つ部分も あった	③どちらでも ない	④あまり役立た ない	⑤役立たない	無回答・ 無効	合計
人数	3	7	0	0	0	32	42
%	7.1	16.7	0	0	0	76.2	100.0

4. 本日の研修会に関する感想をお聞かせください。

1)本日の研修会は、有意義だと思われましたか。

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでも ない	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義ではな かった	無回答・ 無効	合計
人数	12	27	1	0	0	2	42
%	28.6	64.3	2.4	0	0	4.8	100.1

2)今後、本日と同様の研修会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・ 無効	合計
人数	34	0	8	42
%	81.0	0	19.0	100.0

3)本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

- ・もう少し長くベトナムの留学事情が聞きたかったです。
- ・もう少し時間を長くしてほしい。
- ・講演後に質疑応答の時間がほしかった。
- ・他の学校、業界(専門学校)の話が聞けて勉強になりました。
- ・多くの先生方とお話しする機会をありがとうございました。
- ・他校の先生方のお話しが聞けて良かったです。
- ・他校の話が聞けて大変役に立ちました。
- ・もっとたくさんの先生方とお話しできたらよかったですと思います。
- ・事例報告などまた失敗談などの発表もお聞きする機会があればと思います。
- ・意見交換会の時間をもっと増やしてほしいです。(2名)
- ・意見交換会では、具体的な指導方法も教えていただけて大変参考になりました。
- ・一般の専門学校ではまだまだベトナム学生の在籍管理に切実感がないのだと感じました。
- ・またお願いします。

平成 27 年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
日本語学校・専門学校の受け入れ担当者向け研修会アンケート集計<②専門学校>

【調査概要】調査日：平成 28 年 1 月 22 日（金）

○調査方法：会場にて配布、終了後に回収

○調査対象：研修会参加者 85 名（専門学校 計 37 名）

○回収数：専門学校 20 件

1. どちらかに☑チェックを記入してください。→専門学校

2. 本研修会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	18	2	0	0	20
%	90.0	10.0	0	0	100.0

1)ー② 具体的に:8月頃(1名)、12月頃(1名)

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	20	0	0	0	20
%	100.0	0	0	0	100.0

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜講演＞「ベトナムの教育(進学)事情について ー日本留学が人気の理由」

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	10	10	0	0	0	0	20
%	50.0	50.0	0	0	0	0	100.0

2)①＜グループワーク＞(意見交換会)

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	17	3	0	0	0	0	20
%	85.0	15.0	0	0	0	0	100.0

2)②＜グループワーク＞(意見交換会) 2)ー①で①か②を選択された方にお尋ねします。

「一番役に立つ内容」と思われた点をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

質問項目	①専門学校との意見交換	②日本語学校との意見交換	③その他	無回答・無効	合計
人数	2	17	0	1	20
%	10.0	85.0	0	5.0	100.0

3)①＜進学相談＞に参加されましたか。

質問項目	①参加	②不参加	無回答・無効	合計
人数	13	5	2	20
%	65.0	25.0	10.0	100.0

3)②<進学相談>に参加された方は下記よりご感想、ご意見をお聞かせください。

質問項目	①とても役にた った	②役立つ部分も あった	③どちらでもな い	④あまり役立た ない	⑤役立たない	無回答・ 無効	合計
人数	2	5	0	0	0	13	20
%	10.0	25.0	0	0	0	65.0	100.0

4. 本日の研修会に関する感想をお聞かせください。

1)本日の研修会は、有意義だと思われましたか。

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでもな い	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義ではな かった	無回答・ 無効	合計
人数	11	9	0	0	0	0	20
%	55.0	45.0	0	0	0	0	100.0

2)今後、本日と同様の研修会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	16	0	4	20
%	80.0	0	20.0	100.0

3)本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

- ・最初にベトナム留学生を引き受ける日本語学校スタッフの皆様の生活指導から始まるご苦労の数々に驚きました。
- ・ありがとうございました。(2名)
- ・専門学校として日本語学校の先生方の意見を聞くことができ本当に有意義な時間でした。ぜひ、また開催してほしいです。
- ・本校ではまだまだ留学生の受け入れが少ないのですが、日本語学校の先生方のお話を聞かせていただき非常に勉強になりました。引き続き、このような機会を設けていただき、留学生の方々が学びやすい環境作りを本校もしていければと感じました。
- ・本日はありがとうございました。ベトナムについてとても勉強になりました。

平成27年度 文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
日本語学校・専門学校の受け入れ担当者向け研修会

## アンケート

本研修会にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後の事業の参考にさせていただきますので、ご感想をお聞かせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. どちらかにチェックを記入してください。

①日本語学校、日本語学科 ②専門学校

2. 本研修会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。(いずれか1つを選択)

1) 開催時期について

①ちょうど良い ②もっと早くしてほしい(具体的に: \_\_月頃) ③もっと遅くしてほしい(具体的に: 月頃)

2) 実施時間について

①ちょうど良い ②長すぎる(具体的に: \_\_時間位ならよい) ③短すぎる(具体的に: \_\_時間位ならよい)

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。(いずれか1つを選択)

1) <講演>「ベトナムの教育(進学)事情について —日本留学が人気の理由」

①とても役立つ内容だった ②役立つ部分もあった ③どちらでもない ④あまり役立たない ⑤役立たない

2)-①<グループワーク>(意見交換会)

①とても役立つ内容だった ②役立つ部分もあった ③どちらでもない ④あまり役立たない ⑤役立たない

2)-②<グループワーク>(意見交換会) 2)-①で①か②を選択された方にお尋ねします。

「一番役に立つ内容」と思われた点をお聞かせください。(いずれか1つを選択)

①専門学校との意見交換 ②日本語学校との意見交換

③その他(具体的な内容: )

3)-①<進学相談>に参加されましたか。

①参加 ②不参加

3)-②<進学相談>に参加された方は下記よりご感想、ご意見をお聞かせください。

①とても役立つ内容だった ②役立つ部分もあった ③どちらでもない ④あまり役立たない ⑤役立たない

4. 本日の研修会に関する感想をお聞かせください。

1) 本日の研修会は、有意義だと思われましたか。

①とても有意義だった ②有意義だった ③どちらでもない ④あまり有意義ではなかった ⑤有意義ではなかった

2) 今後、本日と同様の研修会があれば参加したいと思いますか。 ①はい ②いいえ

3) 本日の研修会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

### 3-B. 「出前授業」パンフレットの作成と「出前授業」の日本語学校への普及

#### 1. 目的・ねらい等

日本語学校在籍者に専門学校の授業を理解していただくための「出前授業メニューの告知パンフ」を前年に引き続き作成する。

同取り組みは、とりもなおさず専門学校の枠を集めた職業教育の魅力の発信であるので、ホームページでの告知や研修会での告知など、その広報活動を強化し、「出前授業」を日本語学校へ普及するように努める。

#### 2. 目標（広報物の完成）

##### (1) 出前授業パンフレットの作成（12 ページ）

- ・ 出前授業メニューの拡大（以下データ）

平成 27 年度（参画専門学校数：28 校、62 講座）

平成 26 年度（参画専門学校数：25 校、54 講座）

平成 25 年度（参画専門学校数：16 校、30 講座）

#### 3. 出前授業の実施概況

大専各連の加盟校への周知と外国人留学生の受け入れを積極的に行う専門学校が増えてきたことで、今年度、この事業に参画した専門学校は 28 校（62 講座）となり、前年度の参画専門学校 25 校（54 講座）より多少アップさせることが出来た。また、経年のこの事業を契機とした専門学校と日本語学校との連携関係から年間スケジュールを組んで年度当初よりスタートさせている日本語学校も増えつつある。

ただ、この出前授業は既に事務局を介さずに実施するスタイルにしていることから『出前授業の実施件数』について、詳細に把握できていないが、過去の実績からも相当数実施されていると聞き及んでいる。そして、今回の研修会に参加された日本語学校の担当者からも、今後の更なる関係構築に向けて『出前授業』の継続的な実施が必要不可欠であるとの積極的な意見や外国人留学生にとって、日本での就職を視野に入れての重要な課題（職業理解）でもあり歓迎であるとの意見もあった。

#### 4. 次年度以降における課題・展開

上記の様に、定着しつつある出前授業の実施については、継続的に毎年新版として『出前授業パンフレット』を作成し、専門学校が行う講座メニューの情報提供を行うこととする。そうする事で、単年に捉われず日本語学校が計画的に出前授業の取り入れがし易くなり実施件数も伸ばせ、今後の専門学校と日本語学校との関係構築強化が図れる事になる。



5. 実施資料

(1) 出前授業メニュー パンフレット

# 出前授業メニュー

近畿圏内の日本語学校で学ぶ留学生のための出前授業

専門学校  
の授業が  
やってくる



留学生の才能を  
開花させる



高度な専門性が身につく



専門学校を知る



一般社団法人  
大阪府専修学校  
各種学校連合会

平成27年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生就職アシスト事業」  
関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業

# 日本語学校の 外国人留学生向け 出前授業メニュー

本プログラムは、日本語学校の外国人留学生に専門学校の職業教育を知っていただくための体験授業です。

専門学校の授業を「出前」という形で体験いただくことができるため、日本語学校が利用しやすい内容となっています。

また、短期留学プログラム学生の体験イベントや専門学校への準備教育カリキュラムとしての実施も可能です。

留学生が進路を検討するための体験授業として、また、幅広い留学生層の日本語教育・交流の場としてお役立てください。

## CONTENTS

P.03	専門学校での職業教育
P.04	<出前授業メニュー一覧> ウェールーージュ美容専門学校 エール学園 大阪あへの辻調理師専門学校 大阪あへの辻製菓専門学校 大阪ウェディング&ブライダル専門学校 大阪エンタテインメントデザイン専門学校
P.05	大阪工業技術専門学校 大阪情報コンピュータ専門学校 大阪総合デザイン専門学校 大阪調理製菓専門学校
P.06	大阪調理製菓専門学校ecole UMEDA 大阪ハイテク/ロジック専門学校 大阪ビューティーアート専門学校 ホスピタリティ・ツーリズム専門学校大阪 大阪保健福祉専門学校 大阪モード学園
P.07	大阪リゾーツ&スポーツ専門学校 関西外語専門学校 関西社会福祉専門学校 修成建設専門学校
P.08	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪 中央工学校OSAKA 辻学園栄養専門学校 辻学園調理・製菓専門学校 日本コンピュータ専門学校
P.09	日本メディカル福祉専門学校 日本理工情報専門学校 HAL大阪
P.10	Voice 出前授業を開催した日本語学校に お褒めをお寄せください!

## 専門学校の職業教育

専門学校は高等教育機関として日本の職業教育・キャリア教育を支えています。教育分野として以下の8分野があります。



### 出前授業分野一覧

大阪府内の専門学校がさまざまな分野の出前授業を実施いたします。

参加専門学校/分野名	主な出前授業のジャンル
工業	●自動車 ●建築 ●土木 ●造船 ●機械 ●電気 ●電子 ●IT ●CG映像 ●ロボット ●インテリア ●ガーデニング
医療	●歯道整復
衛生	●美容 ●メイク ●ネイル ●調理 ●製菓 ●栄養学(食品)
教育/社会福祉	●保育 ●介護
商業実務	●商業 ●観光 ●ブライダル
服飾/家政	●ファッションデザイン
文化/教養	●Webデザイン ●デザイン ●文化 ●教養 ●ゲーム ●マンガ ●アニメ ●スポーツ ●声優 ●フィギュア ●イラスト ●美術

### 出前授業メニュー一覧

学校名	ジャンル	授業名/内容	日本語能力	時間	回数	対象人数
1	美容	ウェールーージュ美容専門学校 【課料】306-4258-2111 【担当】新田(にのた)	カット技術に挑戦 日本のカットの基礎技術から教えます。実際にワッグ(編みマネキン)を使ってカットを体験してみよう。	初級 中級 上級	50分	1回 1名 / 10名
2	メイク	ウェールーージュ美容専門学校 【課料】306-4258-2111 【担当】新田(にのた)	パーティーメイク 学生同士で互いモデルになり、華やかに見えるメイクアップの基本を学んでいきます。	初級 中級 上級	50分	1回 2名 / 10名
3	ネイル	ウェールーージュ美容専門学校 【課料】306-4258-2111 【担当】新田(にのた)	ネイルアート体験 指先から美しさを表現するネイルアートを体験してみよう。	初級 中級 上級	50分	1回 1名 / 10名
4	商業	エール学園 【課料】306-6647-0011 【担当】西村(にしむら)	留学生を採用している中小企業の経営者講話 インターンシップを通して留学生を実際に採用している企業の社長やマネージャーが、インターンシップで学べる語学・経営がどのように役立つのか、マーケティングがどのように活かすことができるか、その功績が採用にどのように影響するかも詳しくお話しします。	初級 中級 上級	50分	1回 1名 / 50名
5	商業	エール学園 【課料】306-6647-0011 【担当】海城(うみぎ)	コーチング・メンタリングを使ったキャリアデザイン コーチング・メンタリングの基礎を学び、自分の夢を実現するために必要なものは何かを考えよう。ワークシートを使ってわかりやすく指導します。	初級 中級 上級	50分	1回 1名 / 20名
6	文化/教養	エール学園 【課料】306-6647-0011 【担当】海城(うみぎ)	実践ビジネス講座 日本語学習で特に難しいと言われる敬語やビジネスマナーを学ぶことができます。B・J・Tビジネス日本語能力テストは単語を覚えるだけではダメです。講座体験を通して日本のビジネスの顔を聞きましょう。	初級 中級 上級	50分	1回 1名 / 30名
7	調理	大阪あへの辻調理師専門学校 【課料】306-6679-0204 【担当】山岸(やまがし)	調理のデモンストレーション 本校の職員が調理のデモンストレーションを行います。実務校の設備を確認し、内容を決定させていただきます。本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級	50分	1回 10名 / 20名
8	製菓	大阪あへの辻製菓専門学校 【課料】306-6679-0204 【担当】山岸(やまがし)	製菓のデモンストレーション 本校の職員が製菓のデモンストレーションを行います。実務校の設備を確認し、内容を決定させていただきます。本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級	50分	1回 10名 / 20名
9	ブライダル	大阪ウェディング&ブライダル専門学校 【課料】306-7656-0267 【担当】藤本(ふじのぼね)	サービスの基本ナフキン折り体験 サービスの基本で、さらに見た目でお客様に喜んで頂けるナフキン折りを学びます。	初級 中級 上級	30分	1回 1名 / 10名
10	マンガ/アニメ/ゲーム	大阪エンタテインメントデザイン専門学校 【課料】306-6654-8815 【担当】津川(つがわ)	キャラクターデザインのためのカラーリングテクニック講座 マンガ家やアニメーター等のプロにならための基礎となるキャラクターデザインを学び、コピック等のプロの道具を使って色彩技術を習得していただきます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回 1名 / 30名



学校名	ジャンル	授業名/内容	日本語能力	時間	回数	対象人数
大阪工業技術専門学校 【連絡先】06-4352-0093 【担当】吉松(よしまつ)	機械・電気	魚型LEDライトストラップ製作 魚造形用の部品を利用(両面)する事で、手作りのLEDライトストラップを製作します。これは、「モノづくり」の楽しさを感じてもらおうファーストステップの内容であり、高校校の要望に応じて次のステップへと進めることが可能です。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 15名
大阪工業技術専門学校 【連絡先】06-4352-0093 【担当】吉松(よしまつ)	建築	建築図面から建築模型をつくる 建築模型(模型)は、模型を実際つくることにより「モノづくり」の楽しさを感じてもらおうファーストステップの内容であり、高校校の要望に応じて次のステップへと進めることが可能です。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 15名
大阪工業技術専門学校 【連絡先】06-4352-0093 【担当】吉松(よしまつ)	インテリア	お部屋のカラーリング製作 インテリアデザイン(インテリア)は、お部屋のインテリアやカラーリングを考えることにより「モノづくり」の楽しさを感じてもらおうファーストステップの内容であり、高校校の要望に応じて次のステップへと進めることが可能です。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 15名
大阪情報コンピュータ専門学校 【連絡先】06-4772-2233 【担当】高田(たかた)	ゲームデザイン	キャラクターデザイン ゲーム業界の著名なプロ講師が、魅力的なゲームのキャラクターづくりの秘訣を教えます。	初級 中級 上級	60分 / 90分	2回	1名 / 20名
大阪情報コンピュータ専門学校 【連絡先】06-4772-2233 【担当】高田(たかた)	イラストデザイン	マンガイラスト コンピュータグラフィックスを使って、キャラクターに色を付けていきます。完成した作品はお持ち帰りいただけます。	初級 中級 上級	60分 / 90分	1回	1名 / 10名
大阪情報コンピュータ専門学校 【連絡先】06-4772-2233 【担当】高田(たかた)	グラフィックデザイン	ビジュアルデザイン 広告のデザインにおいては、色彩、カラー、レイアウトなど、限られた条件でのデザインが大切になります。ポストカードを作りながらノウハウを体験。	初級 中級 上級	60分 / 90分	1回	1名 / 10名
大阪総合デザイン専門学校 【連絡先】06-4376-2100 【担当】渡谷(しげたに)	フォト	フィギュア造形の世界を知ろう 本校卒業生(専門学校)によるフィギュア造形に関する基礎講座です。実際のフィギュア造形を見ながら、工具の説明、使い方の作り工程など同じ留学生の経験を通じて学びます。	初級 中級 上級	40分 / 50分	1回	1名 / 10名
大阪総合デザイン専門学校 【連絡先】06-4376-2100 【担当】渡谷(しげたに)	イラストデザイン	キャラクターデザイン講座 実際の作品を見ながら、絵を絵コンテとアニメ、後半は簡単なキャラクターデザインの実習を体験していただきます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回	1名 / 15名
大阪総合デザイン専門学校 【連絡先】06-4376-2100 【担当】渡谷(しげたに)	マンガ	日本のマンガを知ろう 本校卒業生(専門学校)による「日本のマンガ」についてレクチャーを受けることができます。後は自分の好きなキャラクターの表情の書き分けを体験していただきます。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 15名
大阪調理製菓専門学校 【連絡先】06-4341-1010 【担当】藤本(ふじもと)	調理・製菓	調理・製菓体験実習 専任教員が料理・お菓子作りをのんびり楽しんでもらう。食育で働くための知識と技術を伝授します。在学中の留学と一線に体験できます。※設備等を確認後、内容を決定いたします。本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級	50分 / 110分	1回	10名 / 40名

学校名	ジャンル	授業名/内容	日本語能力	時間	回数	対象人数
大阪調理製菓専門学校 【連絡先】06-4341-1010 【担当】藤本(ふじもと)	調理・製菓	調理・製菓体験実習 専任教員が料理・お菓子作りをのんびり楽しんでもらう。食育で働くための知識と技術を伝授します。在学中の留学と一線に体験できます。※設備等を確認後、内容を決定いたします。本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級	50分 / 110分	1回	10名 / 40名
大阪ハイテクノロジー専門学校 【連絡先】06-4392-9119 【担当】池田(いけだ)	ロボット	日本で活躍する医療・福祉ロボット紹介 近年、ますますロボットが目まぐるしく、特に日本では少子高齢化から医療福祉ロボットの分野の取り込みが活発化しています。日本で開発が進められているロボットの紹介と、今後求められる人材・技術をご説明いたします。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 20名
大阪ハイテクノロジー専門学校 【連絡先】06-4393-4472 【担当】木暮(きぐら)	スポーツ	コンディショニングストレッチ 身体をコンディショニング・調整することで、パフォーマンスの向上と健康増進に役立ちます。本授業は、スポーツの前後や普段の疲れを取るために、自宅で簡単に出来るセルフストレッチを学んでいただきます。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 10名
大阪ハイテクノロジー専門学校 【連絡先】06-4393-4472 【担当】木暮(きぐら)	美容	憧れを癒すセルフマサージとストレッチ 解剖学の特長も考えながら、日々の生活で疲れた身体を癒すために、日々自分でできるセルフマサージとストレッチ方法を学んでいただきます。※当日はジャージなどの動きやすい服装で出席ください。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 10名
大阪ビューティーアート専門学校 【連絡先】06-4300-5514 【担当】堀江(ほりえ)	美容	美容師国家試験体験 国家試験100%合格(平成27年3月実施)の母校技術を体験できます。	初級 中級 上級	30分 / 60分	1回	10名 / 20名
大阪ビューティーアート専門学校 【連絡先】06-4300-5514 【担当】堀江(ほりえ)	美容	ビューティー分野体験 エステ・メイク・ネイルの技術を体験していきましょう。	初級 中級 上級	45分 / 75分	1回	10名 / 20名
ホスピタリティリズム専門学校大阪 【連絡先】06-6447-0196 【担当】松野(まつの)	観光	ホテルスタッフ体験 ホテル業界の最新情報や仕事の内容を体験し、ホテルスタッフの仕事の一部を体験していただきます。(実施時期により、当校の施設にての実施も可能です)	初級 中級 上級	30分 / 50分	1回	1名 / 10名
ホスピタリティリズム専門学校大阪 【連絡先】06-6447-0196 【担当】松野(まつの)	観光	知っておくと便利な旅行知識 海外旅行や出張を準備するときに知っておくと便利な旅行業界用語を学んでいただきます。	初級 中級 上級	30分 / 50分	1回	1名 / 20名
大阪保健福祉専門学校 【連絡先】06-6396-2941 【担当】奥田(おくた)	介護	基本的な介護技術 移動・移乗の介助 ボイマークスを活用し、利用者・介助者によって負担のない介助を学ぶことができます。ベッド上での移動・車椅子の介助・歩行介助などを指導します。	初級 中級 上級	60分	1回	10名 / 10名
大阪モード学園 【連絡先】06-4345-2222 【担当】藤本(ふじもと)	ファッション	デザイン画の着色 各校生が撮影したオリジナルデザイン画(スタイリング)を、イラスト、マーカー、色鉛筆などの画材を用いて、素材特有の質感に仕上げましょう。	初級 中級 上級	90分	1回	5名 / 15名

学校名	ジャンル	授業名/内容	日本語能力	時間	回数	対象人数
大阪モード学園 【連絡先】06-4345-2222 【担当】藤本(ふじもと)	メイク	ナチュラルメイク 人気メイクアップの元メイクアップアーティストから、メイクの基本を学ぶ。学生同士でモデルでのナチュラルメイクを体験しましょう。	初級 中級 上級	90分	1回	5名 / 15名
大阪モード学園 【連絡先】06-4345-2222 【担当】藤本(ふじもと)	インテリア	モデリング 真方の板ROMをスタンレーボードを用いて立体的に制作してみよう。	初級 中級 上級	90分	1回	5名 / 15名
大阪モード学園 【連絡先】06-4345-2222 【担当】藤本(ふじもと)	グラフィック	創作デザイン A4シートに「テーマ」に沿った創作デザインを描き、個性を表現してみよう。	初級 中級 上級	90分	1回	5名 / 15名
大阪リゾート&スポーツ専門学校 【連絡先】06-4886-7897 【担当】中川(なかがわ)	スポーツ	トレーナー・インストラクター体験 スポーツトレーナーやインストラクターとしての仕事を紹介します。そして、実際にトレーニングやストレッチなどを体験していただきます。	初級 中級 上級	45分	1回	1名 / 20名
関西外国語専門学校 【連絡先】06-4623-1851 【担当】大江(おほえ)	文化・教養	就職に役立つビジネスマナー 日本の就職には「いかに後輩とやり取りするか」が重要なポイントです。ここでは挨拶・お辞儀・入室・入室後の振る舞いなど、就職活動にそのまま使えるビジネスマナーの基礎を学びます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回	5名 / 15名
関西外国語専門学校 【連絡先】06-4623-1851 【担当】大江(おほえ)	文化・教養	BJTビジネス日本語能力テスト攻略講座 BJT(日本)で就職を考える留学生には大切なテストです。それは日本語と日本のビジネス習慣の両方が必要になります。ここでは実際の問題を解きながらポイントやコツを学び、理解につなげます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回	5名 / 15名
関西社会福祉専門学校 【連絡先】06-4624-2518 【担当】藤本(ふじもと)	介護	いろいろな介護体験してみよう! 介護福祉士について勉強した後、レクリエーションや車椅子などを使った授業を体験していただきます。	初級 中級 上級	50分	1回	1名 / 10名
修成建設専門学校 【連絡先】06-4674-1644 【担当】福田(ふくだ)	建築	建築模型製作 建築設計の現場で使用されている材料を用いて、お客様に提供する住宅の完成予想模型を作成します。人数、実施時間等にあわせて数種類の模型の中から選択可能です。また、授業を通して、建築関係の基礎的な知識を学んでいただきます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回	1名 / 25名
修成建設専門学校 【連絡先】06-4674-1644 【担当】福田(ふくだ)	土木	橋梁模型製作 トラス橋と呼ばれるタイプの橋梁模型を、設計現場でも使用する材料を用いて作成します。模型製作を通して、土木設計に興味を持っていただくこと、身辺安全確保に関する知識を修得していただきます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回	1名 / 25名
修成建設専門学校 【連絡先】06-4674-1644 【担当】福田(ふくだ)	英語・ドイツ語	英会話やドイツ語体験 実際に会話や様々な場面で使える、英会話やドイツ語を体験していただきます。また、英会話やドイツ語の勉強法も学びます。英会話やドイツ語体験は持ち帰りいただけます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回	1名 / 25名

学校名	ジャンル	授業名/内容	日本語能力	時間	回数	対象人数
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪 【連絡先】06-6537-4333 【担当】千原(ちのへ)	デザイン・美術	アクセサリー制作 オリジナルのアクセサリーを制作します。ものづくりの楽しさを体験していただきます。※制作アイテムは相談できます。	初級 中級 上級	50分 / 90分	1回	1名 / 15名
中央工学校OSAKA 【連絡先】06-6864-0800 【担当】斎藤(さいとう)	建築	建築模型の製作 パーツを組み合わせて、有名な建築物の模型を制作します。道具の基礎的な使用方法や適合物の種類の仕方などを丁寧に指導いたします。	初級 中級 上級	45分	1回	1名 / 10名
中央工学校OSAKA 【連絡先】06-6864-0800 【担当】斎藤(さいとう)	インテリア	紙で作るランパシェード製作 紙に切り込みを入れて作るだけで簡単に仕上がるランパシェードの製作を体験していただきます。	初級 中級 上級	30分 / 45分	1回	1名 / 20名
中央工学校OSAKA 【連絡先】06-6864-0800 【担当】斎藤(さいとう)	建築・インテリア	建築・インテリアの仕事 現在活躍している建築士やデザイナーによる、業界の現状や職種、仕事内容などを、実際の写真等を用いて分かりやすく説明いたします。	初級 中級 上級	45分 / 90分	1回	1名 / 30名
学園栄華専門学校 【連絡先】06-4367-1249 【担当】大野(おの)	健康・食生活	クイズを通して栄養を学ぶ 簡単なクイズを通して、食や健康、栄養の基本を学びます。	初級 中級 上級	45分	1回	1名 / 15名
学園栄華専門学校 【連絡先】06-4367-1249 【担当】大野(おの)	調理・製菓	調理・製菓の料理講習 当校施設による調理・製菓の実習を実施します。メニュー内容は授業の状況などを含め、ご相談させていただきます。本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級	60分	1回	1名 / 35名
日本コンピュータ専門学校 【連絡先】06-6329-4553 【担当】清水(しみず)	アニメ	キャラクターデザイン講座 アニメやマンガのキャラクターの描き方や、オリジナルキャラクターのデザイン技術を学びます。描きこむという作業の楽しさや、描きこむ技術も学びます。	初級 中級 上級	45分	1回	1名 / 5名
日本コンピュータ専門学校 【連絡先】06-6329-4553 【担当】清水(しみず)	Webデザイン	Webデザイン講座 パソコンが得意で、ソフトの操作が得意であれば、Web上で表示されるホームページなどのデザインの作り方を学ぶことができます。ソフトの準備が困難であれば、デザイン技術、配色を学ぶ講座を行います。	初級 中級 上級	45分	1回	1名 / 5名
日本コンピュータ専門学校 【連絡先】06-6329-4553 【担当】清水(しみず)	ITゲーム	ゲーム制作体験 パソコンが得意で、ソフトの操作が得意であれば、カンタンゲームの制作を体験できます。	初級 中級 上級	60分	1回	1名 / 5名
日本コンピュータ専門学校 【連絡先】06-6329-4553 【担当】清水(しみず)	声優	声優の基本 発声を学ぶ 声優になるための基本である「発声」、「感情」の方法を学びます。声優大会(声優コンテスト)への参加や、声優事務所への応募も体験しながら学びましょう。	初級 中級 上級	45分	1回	1名 / 5名

学校名	ジャンル	授業名/内容	日本語能力	時間	回数	対象人数
51 日本メディカル専門学校 【連絡先:06-6329-6553 担当:福井 謙(かみい としあき)】	医療	人体の構造を知ろう 人体の構造及び機能(心臓、腎臓)の説明および生体機能代行装置の学習をします。人体模型を使用し、人体のしくみを学びましょう。	初級 中級 上級 開わず	50分	1回	1名 / 10名
52 日本メディカル福祉専門学校 【連絡先:06-6329-6553 担当:福井 謙(かみい としあき)】	保育	日本の子どもの伝統あそびを知ろう 子どもは遊びを通して様々なことを学びます。保育園での遊びの一部(日本の伝統あそび、わらべた、手あそび)を取り上げて実際に遊びを体験します。また保育園での子どもの姿や行事等の写真を送ながら、子どもの成長過程を学習していただきます。	初級 中級 上級 開わず	40分	1回	5名 / 15名
53 日本理工情報専門学校 【連絡先:06-6329-6553 担当:福井 謙(かみい としあき)】	自動車	エンジンの仕組みを知ろう 自動車のエンジン一環であるガソリンエンジンの仕組みを学びます。また、自動車によって電気は重要で、実際に高電圧火花の仕組みを学び、体験してみましょう。	初級 中級 上級 開わず	45分	1回	1名 / 6名
54 日本理工情報専門学校 【連絡先:06-6329-6553 担当:福井 謙(かみい としあき)】	ロボット	二足歩行ロボットを操作してみよう ロボットの動作をプログラムし、実際の動きを体験します。プログラムの組み方よりロボットへの動きの変化を学びましょう。	初級 中級 上級 開わず	45分	1回	1名 / 5名
55 日本理工情報専門学校 【連絡先:06-6329-6553 担当:福井 謙(かみい としあき)】	電気	電気工事配線実習 電気のON、OFFの仕組みから、ケーブル(電線)の接続、器具の取り付けを行い、電気照明の点検を体験学習します。また、日常使っている家電製品の取扱い方を学ぶことができます。	初級 中級 上級 開わず	45分	1回	1名 / 5名
56 日本理工情報専門学校 【連絡先:06-6329-6553 担当:福井 謙(かみい としあき)】	電子	LEDを点灯させてみよう ICを使った出力、電子回路(ケーブル(電線)の接続)で、LED電球を点灯させてみましょう。明るさの調整、色の組み合わせも実習し、学習していただきます。	初級 中級 上級 開わず	45分	1回	1名 / 5名
57 日本理工情報専門学校 【連絡先:06-6329-6553 担当:福井 謙(かみい としあき)】	建築	住宅の模型をつくってみよう 模型づくりを通して、建築の仕事の一つを体験してください。また、日本における国家資格や仕事についても学習していただきます。	初級 中級 上級 開わず	90分	1回	1名 / 5名
58 HAL大阪 【連絡先:06-6347-0001 担当:八田(はちた)】	ゲーム	ニンテンドー3DSのゲームプログラミング プログラミングが初めてでも大丈夫です。プロのゲームプログラマーと同じ、ニンテンドー3DSの開発環境(専用ソフト)でのプログラミングはどのようなものかを学んでいただきます。※対象人数が多い場合は、本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級 開わず	90分	1回	1名 / 5名
59 HAL大阪 【連絡先:06-6347-0001 担当:八田(はちた)】	ゲーム	ゲームキャラクターモデリング デザイン初心者でも自分らしく作れます。プロのゲームデザイナーが使用している開発ソフト(Maya)を用いて、ゲームキャラクターを自分の手でつくって体験していただきます。※対象人数が多い場合は、本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級 開わず	90分	1回	1名 / 5名
60 HAL大阪 【連絡先:06-6347-0001 担当:八田(はちた)】	CG制作・アニメ	3DCGアニメーション 既存のキャラクターを使用しますので、デザイン等のスキルは不要です。英語やTV、アニメ業界のソフトが使用している開発ソフト(Maya)を用います。イキイキ動くキャラクターを自由に動かす、モーションを付けたり体験していただきます。※対象人数が多い場合は、本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級 開わず	90分	1回	1名 / 5名

学校名	ジャンル	授業名/内容	日本語能力	時間	回数	対象人数
61 HAL大阪 【連絡先:06-6347-0001 担当:八田(はちた)】	グラフィックデザイン	ブックカバーのオリジナルデザイン デザイナー業界の標準ソフトウェアであるPhotoshop, Illustratorの基礎的な使用方法を学びます。いろいろな写真やイラスト、デザイン素材を利用して、オリジナルのブックカバーを作成していただきます。※対象人数が多い場合は、本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級 開わず	90分	1回	1名 / 5名
62 HAL大阪 【連絡先:06-6347-0001 担当:八田(はちた)】	カーデザイン	カーデザインスケッチ デザインやデザインスケッチ未経験者でも問題ありません。プロのカーデザイナーがカーデザインスケッチの基礎を教えます。デッサンの方法やカッコいい車を描くための秘訣を学んでいただきます。※対象人数が多い場合は、本校内での実施も可能です。	初級 中級 上級 開わず	90分	1回	1名 / 5名

**Voice** 出前授業を体験した日本語学校にお話を聞きました!

**出前授業名 草花寄せ植え**  
 授業担当校: 修成建設専門学校 分野: 工業  
 実施日: 2015年3月 参加留学生の出身国: 中国 日本語能力: 開わず

道園の授業は、日本の文化にも触れることができ、普段はなかなかできない貴重な体験でした。今後も留学生の意欲向上につながる機会を増やしたいと思います。

今回の出前授業は、100年以上の歴史を持つ建築の伝統校、修成建設専門学校にご実演いただきました。授業の前半は、日本をはじめさまざまな国の旗についての授業。後半は、草花の寄せ植え体験。専門家の実演に直接触れることができました。参加した留学生は、日本語能力初級のものが多かったのですが、先生の丁寧な指導により、普段の語学学習からは得られない学びを体験することができました。このような機会をできるだけ増やして、留学生の意欲向上につながることを目指します。

実施日本語学校: 大阪YWCA専門学校

**出前授業名 ナチュラルメイク**  
 授業担当校: 大阪モード学園 分野: 衛生  
 実施日: 2015年3月 参加留学生の出身国: ベトナム、中国 日本語能力: 開わず

プロによるメイク体験や流行・最新技術を学ぶことができました。これを機に留学生が将来の選択肢として専門職をめざすものが出てくるかもしれません。

ファッション・メイク・デザインを学ぶ専門学校、大阪モード学園の講師が、メイクプロの技術を出前授業で実践していただきました。実際に体験されている先生の本格的なメイクの授業は、とても貴重な体験でした。メイクが手に入った留学生は、メイクをしてもらって褒めが、いさよとしました。講師のメモをとり、写真撮影をして熱心に授業を受けていました。これからも多くの留学生が出前授業を体験できることを目指します。

実施日本語学校: 新築国際語学学院

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 (担当: 勝間)

〒534-0026 大阪市都島区網島町6番20号 大阪府私学教育文化会館  
 TEL: 06-6352-0048 FAX: 06-6352-7553

## (2) 出前授業講座 一覧

日本語教育機関	No.	実施専門学校	実施日	講座メニュー	受講数
関西外語専門学校 日本語課程	1	修成建設専門学校	7/7	建築模型製作	19名
	2	日本メディカル福祉専門学校	1/19	日本の子どもの伝統あそびを知ろう	20名
	3	大阪リゾート&スポーツ専門学校	2/2	トレーナー・インストラクター体験	20名
	4	修成建設専門学校	2/9	建築模型製作	20名
	5	専門学校コ・みづのジュエリーカレッジ大阪	2/23	アクセサリ制作	20名
	6	辻調理師専門学校	3/1	調理のデモンストレーション	20名
	7	関西外語専門学校	3/8	就職に役立つビジネスマナー	20名
岡山外語学院	8	ホスピタリティーツルズ専門学校大阪	9/11	ホテルスタッフ体験	15名
アジアハウス附属 海風日本語学舎	9	ホスピタリティーツルズ専門学校大阪	2/16	ホテルスタッフ体験	18名
	10	中央工学校 OSAKA	2/5	紙で作るランプシェード製作	18名
福岡国際学院	11	ホスピタリティーツルズ専門学校大阪	9/11	ホテルスタッフ体験&大阪案内	50名
シニア語学専門学院	12	専門学校コ・みづのジュエリーカレッジ大阪	1/29	アクセサリ制作	36名
京魚ゲージカネ	13	関西外語専門学校	1/28	就職に役立つビジネスマナー	11名
	14	日本メディカル福祉専門学校	1/28	日本の子どもの伝統あそびを知ろう	20名
	15	中央工学校 OSAKA	2/24	紙で作るランプシェード製作	15名前後
	16	大阪エンタテインメントデザイン専門学校	2/24	キャラクターデザインのためのカラーリングテクニック講座	15名前後
	17	専門学校コ・みづのジュエリーカレッジ大阪	2/24	紙で作るランプシェード製作	15名前後
ダイワアカデミー	18	日本理工情報専門学校	5/26	エンジンの仕組みを知ろう	7名
清風情報工科学院 日本語科	19	日本理工情報専門学校	11/16	電気工事配線実習	6名
大阪YWCA専門学校	20	日本メディカル福祉専門学校	1/29	日本の子どもの伝統あそびを知ろう	7名
合計					372名

出前授業実施件数 20件  
 出前授業実施日本語学校 9校  
 出前授業実施専門学校 11校  
 出前授業利用人数 約372名

## 4. 留学生採用意欲を持つ中小企業と専修学校との連携事業

### 4-A. 留学生採用企業交流会の実施

#### 1. 目的・ねらい等

地域中小企業との連携強化、円滑な専修学校留学生採用のため、企業の採用担当者と専門学校就職担当者、行政関係者との産官学交流会を実施する。

開催にあたっては、地域中小企業団体の協力も得て、企業側の採用事例、学校側の就職指導例を入れた魅力あるセミナーとして実施する。また、実際に専門学校で学び、就職活動をした留学生にも参加してもらい、現在の状況の生の声を企業担当者が聞けるよう工夫を行う。

留学生採用の意欲は、近年新たな段階に突入しており、各分野での企業ニーズも多様化してきている。外国人材の活用は、海外進出のための活用、インバウンド事業を核としてサービス業での活用、本格的に人材不足が顕在化してきているほとんどの業種での活用などである。これらの新しい段階でのニーズに合わせた交流会の実施により、中小企業との連携強化を推進する。

#### 2. 関連して行った事業名

「4-B. 専修学校職業教育普及のための外国人留学生職業人育成ガイドの作成」

#### 3. 実施結果

##### (1) 実施内容

1) 第1部セミナーでは2段階の組み立てで、①ミニ研修会として『就労ビザ申請の手続きのポイント』②事例発表として『日本で働くということ～専門学校で学び、就職活動から現在まで～』『専門学校留学生人材の魅力～採用目的と採用までの流れ、利点と課題～』といった構成で、留学生として就職活動をする側、留学生を採用する側、各々のお立場での話をしていただいた。

##### 2) 交流会（意見交換の場）のポイント

1グループが数名で収まるようにグループ分けをしたが、その際、これから採用を考えられている企業と、既に採用実績をお持ちの企業とに分け、同じ立場で問題や成功事例を共有出来るよう便宜を図った。

##### 3) 広報活動

大阪商工会議所名簿約5,000件に案内状を送付し、企業動員を実施。

##### (2) 実施プログラム

「外国人留学生採用交流会」

1) 開催日：平成27年12月16日（水）15：00～18：00

2) 会場：大阪YMCA会館 9階 903号室

3) 参加人数78名（内訳：企業39名／行政6名／専門学校17名／講演者3名／留学生委員会等13名）

##### 4) 当日のプログラム

司会：森ノ宮医療学園専門学校 川鍋 史一

<挨拶> 専門学校の概要、専門学校の留学生の状況

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長

大阪商工会議所

人材育成委員会 委員長 長谷川 恵一

<ミニ研修>就労ビザ申請の手続きのポイント  
学校法人 上田学園  
学生部 次長 津川 龍一（申請取次資格保有者）

<事例発表1>日本企業への就職 ～仕事の魅力  
外国籍社員（専門学校卒業生）による講演

<事例発表2>インバウンドビジネス最前線  
留学生採用企業様による講演

<テーマ別グループディスカッション>

- ① 留学生の採用前、採用時の課題
- ② 採用後の育成と課題

<名刺交換等自由交流>

#### 5) 当日配布資料

当日プログラム、アンケート、「平成27年度職業人育成ガイド」

#### 4. 当初目的の達成状況

企業からの参加は昨年対比で2件増。参加者数は5名増であった。  
全体としての参加者数は10名以上減ったものの、メインである企業からの参加は微増ではあるが増えている。終了後のアンケートでも、ディスカッション参加の評価は94.3%が有意義であったと回答し、情報交換の場としての評価は91.4%が有意義であったと回答している。この二点からも、実施目的については、達成していると言えよう。

また、時代を反映してか、インバウンドビジネス最前線の講演については97.2%が役立ったと回答していることは、今後のテーマの参考としたい。企業側が興味を持っていることも盛り込みつつ、まだまだ外国人雇用についての理解が不足している点を解消していければ、この交流会の意義は益々重要になるものと思われる。

#### 5. 成果

グループディスカッションの中での意見として、採用のポイントは「外国人も日本人も変わらない」といったような意見が複数出ており、これからの採用を考えている企業担当者にとっては、自信につながるような意見も出ていた。

#### 6. 次年度以降における課題・展開

今後の課題・展開としては、企業担当者にこのような交流の機会をこれまで以上に設け、各企業が抱えている問題抽出を行うことと、我々の活動をもっと広く周知してもらうための仕掛け作りである。「外国人採用を何処に相談して良いのか分からない」といった意見がまだまだ出ている以上、この事業は継続していく必要があると考える。

7. 実施資料

(1) プログラム等当日配布資料

プログラム

平成 27 年度専修学校留学生就職アシスト事業

「外国人留学生採用企業交流会」

～留学生のより良い採用と育成を目指すための産・官・学交流会～

- 【主催】 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会  
 【共催】 大阪商工会議所  
 【日時】 平成 27 年 12 月 16 日（水）／ 15：00～18：00  
 【会場】 大阪YMCA会館 9階903号室

時間	プログラム
14:30～	受付 <span style="float: right;">司会：川鍋</span>
15:00～15:10 (10分)	<b>1. 挨拶</b> <b>専門学校概要、専門学校の留学生の状況</b> (一社)大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長 大阪商工会議所 人材育成委員会 委員長 長谷川 恵一
15:10～15:40 (30分)	<b>2. ミニ研修</b> <b>就労ビザ申請の手続きのポイント</b> 学校法人 上田学園 学生部 次長 津川 龍一（申請取次資格保有者）
15:40～16:00 (20分)	<b>3. 事例発表 1：「日本企業への就職～仕事の魅力」</b> ㈱ホンダカーズ三重 チャン・チュン・ヒュー 氏 〔日本理工情報専門学校 卒業生〕（出身国：ベトナム）
16:00～16:20 (20分)	<b>4. 事例発表 2：「留学生採用企業様による講演」</b> ㈱王宮（なんば道頓堀ホテル）専務取締役 橋本明元 氏 インバウンドビジネス最前線の現場のお話、また外国人留学生等の活躍や人材育成について
16:20～16:25 (5分)	<休憩（5分）>
16:25～17:25 (60分)	<b>5. テーマ別グループディスカッション</b> ①留学生の採用前、採用時の課題 ②採用後の育成、課題
17:25～17:30	<b>6. 挨拶</b> 大阪商工会議所 人材開発部部長/人材採用支援担当課長 鱧谷 貴 氏
17:30～18:00 (30分)	<b>7. 名刺交換等自由交流（自由参加）</b>

ネームストラップのカラー／赤（企業・団体）、青（専門学校他教育機関）、緑（行政・地方自治体）



(2) 出席者名簿

	【企業】	部署・役職	出席
1	(株)アル・コネクションプロダクツ	代表取締役	欠席
2	(株)アル・コネクションプロダクツ	専務取締役	○
3	(株)エイジエック	事業部長	○
4	(株)エイジエック		○
5	(株)エイジエック	R&D事業部	○
6	(株)エイジエック	国際事業部	欠席
7	大阪スバル(株)	営業支援本部人事課	○
8	大阪スバル(株)	営業支援本部人事課	○
9	カクイカセイカブ 角一化成(株)	管理センター 課長	○
10	カワサキロボットサービス(株)	人事総務課	○
11	(株)関西マツダ	総務課 課長	○
12	(株)関西マツダ	総務部	○
13	京都さがの館(株)京織	代表取締役	○
14	ケイ・イー・シー(株)	営業MG	○
15	(株)KNTビジネスクリエイト	西日本営業部 部長	○
16	k' sインターナショナル(株)	代表取締役	欠席
17	k' sインターナショナル(株)	取締役	○
18	(株)CONY JAPAN	人材開発課係長	欠席
19	(株)コノエ	総務課 課長	○
20	(株)コボ	経営企画室 部長	○
21	精工産業株式会社	代表取締役	○
22	(株)ダイキエンジニアリング 大阪営業所	人事部 主任	○
23	WDB(株)	大阪支店シニアプランマネージャー	○
24	中央設備エンジニアリング(株)	業務部業務課課長代理	○
25	(株)ドン・キホーテシェアードサービス	総務本部IR/マーケティングマネジメント部	○
26	(株)ドン・キホーテシェアードサービス	新卒採用課	○
27	日東キャストディアル・サービス㈱	部長代理	○
28	(株)ノーザンライツ	イノベーション事業部セネラルマネージャー	○
29	(株)ノーザンライツ	イノベーション事業部	○
30	(株)ビッグバレーインターナショナル	代表取締役	○
31	(株)ヒト・コミュニケーションズ 関西支社	営業	○
32	(株)ヒト・コミュニケーションズ 関西支社	営業	○
33	(株)ファミリーマート関西第2ディストリクト	副統括部長	○
34	(株)ファミリーマート関西第2ディストリクト	担当	○
35	(株)PLUS1	代表取締役	○
36	ケイ・イー・シー(株)	シニアコンサルタント	○
37	松田興産(株)	代表取締役	○
38	(株)理想実業(どうとんぼり神座)	人材開発本部	○
39	(株)レオパレス21	西日本学校法人営業部営業副部長	○
40	(株)レオパレス21	学校法人営業部関西ブロックマネージャー	○
41	㈱RE-JAPAN	代表取締役	○
42	森興産(株)	役員秘書	○
43	(株)アベックス	代表取締役 専務	○
	合計		39

	【行政】	部署・役職	出席
1	(公)大阪観光局	海外プロモーション部教育旅行コーディネーター	○
2	(公)大阪観光局	海外プロモーション部教育旅行コーディネーター	○
3	大阪商工会議所	人材開発部部長・人材採用支援担当課長	○
4	(一財)大阪労働協会		○
5	(一財)大阪労働協会		欠席
6	(一社)関西インハウッド事業推進協議会	まち処統括マネージャーおもてなしプロジェクト	○
7	(一社)関西インハウッド事業推進協議会	経営企画室	○
	合計		6

	【専門学校】	部署・役職	出席
1	ECC国際外語専門学校	進路指導課	○
2	ECC国際外語専門学校	教務課	○
3	上田安子服飾専門学校	学生部	○
4	上田安子服飾専門学校	ファッションクリエイター学科	○
5	上田安子服飾専門学校	ファッションビジネス学科	欠席
6	大阪工業技術専門学校	キャリアセンター 主任	○
7	大阪ハイテクノロジー専門学校	事務局次長	欠席
8	大阪ハイテクノロジー専門学校	広報課課長	○
9	大阪バイオメディカル専門学校	理事	○
10	大阪バイオメディカル専門学校	顧問	○
11	大阪バイオメディカル専門学校	国際交流センター	欠席
12	大阪YWCA専門学校	専任講師	○
13	大阪YMCA国際専門学校	語学・ビジネス専門課程	○
14	修成建設専門学校	事務局 進路係	○
15	修成建設専門学校	事務局 学籍係	○
16	駿台観光&外語ビジネス専門学校	キャリアセンター	○
17	駿台観光&外語ビジネス専門学校	キャリアセンター	○
18	日本分析化学専門学校	教務	○
19	日本理工情報専門学校	自動車整備科	○
20	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	事務長	欠席
21	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	進路担当係長	欠席
22	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	教務部教務科 外国人留学生担当	○
	合計		17

	【留学生委員】	部署・役職	出席
1	ECC留学生センター		○
2	上田安子服飾専門学校		○
3	エール学園		○
4	エール学園		○
5	エール学園		○
6	大阪工業技術専門学校		○
7	大阪YMCA		○
8	大阪YWCA		○
9	関西外語専門学校		欠席
10	修成建設専門学校		欠席
11	修成建設専門学校		○
12	清風情報工科学院		欠席
13	清風情報工科学院		○
14	日本メディカル福祉専門学校		○
15	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪		○
16	森ノ宮医療学園(森ノ宮医療大学)		○
	合計		13

	【講演者】	部署・役職	出席
1	㈱ホンダカーズ三重		○
2	㈱王宮(なんば道頓堀ホテル)専務取締役	専務取締役	○
3	大阪エンタテインメント専門学校		○
	合計		3

出席者 総数	合計
企業	39
行政	6
専門学校	17
講演者	3
留学生委員	13
合計	78

(3) アンケート

平成27年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」

外国人留学生採用交流会アンケート集計<①企業>

【調査概要】調査日：平成27年12月16日（水）

○調査方法：会場にて配布、終了後に回収

○調査対象：交流会参加者78名（企業 計39名）

○回収数：35件

1. 貴社の業種をお聞かせください。（複数回答者あり）

質問項目	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業
人数	0	0	0	0	1	3	0	1	0
%	0	0	0	0	2.6	7.9	0	2.6	0
質問項目	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	サービス業	その他	無回答・無効
人数	8	0	2	2	0	0	13	4	2
%	21.1	0	5.3	5.3	0	0	34.2	10.5	5.3
質問項目	教育・学習支援業	合計							
人数	2	38							
%	5.3	100.1							

【その他】 人材、人材紹介、建物管理・メンテナンス業、事業統括

2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	26	8	0	1	35
%	74.3	22.9	0	2.9	100.1

1)【自由回答】希望時期は？ 9月、9～10月、10月、6月

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	34	1	0	0	35
%	97.1	2.9	0	0	100.0

2)【自由回答】希望時間は？2時間

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜ミニ研修＞就労ビザ申請の手続きのポイント

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	9	23	2	0	0	1	35
%	25.7	65.7	5.7	0	0	2.9	100.0

2)＜事例発表1＞「日本企業への就職～仕事の魅力」(株)ホンダカーズ三重 チャン・チュン・ヒュー 氏[日本理工情報専門学校 卒業生](出身国:ベトナム)

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	7	25	0	1	1	1	35
%	20.0	71.4	0	2.9	2.9	2.9	100.1

3) <事例発表2>「留学生採用企業様による講演」

(株)王宮(なんば道頓堀ホテル)専務取締役 橋本明元 氏留学生採用企業人事担当者による講演

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	26	8	0	0	0	1	35
%	74.3	22.9	0	0	0	2.9	100.1

4. テーマ別ディスカッション、自由交流について十分な情報交換ができましたか。

質問項目	①とても有意義だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義ではなかった	⑤有意義ではなかった	無回答・無効	合計
人数	14	18	1	0	0	2	35
%	40.0	51.4	2.9	0	0	5.7	100.0

5. 本日の交流会に関する感想をお聞かせください。

1) 本日の交流会は、有意義だと思われましたか？

質問項目	①とても有意義だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義ではなかった	⑤有意義ではなかった	無回答・無効	合計
人数	14	19	1	0	0	1	35
%	40.0	54.3	2.9	0	0	2.9	100.1

2) 今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	30	1	4	35
%	85.7	2.9	11.4	100.0

3) 本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。【自由回答】

- ・本日はありがとうございました。また参加できればと思います。(2名)
- ・学校関係者全員と名刺交換できるやり方があるとありがたいです。
- ・非常に貴重な御意見・情報交換ができました。(3名)
- ・今後とも宜しく願います。ありがとうございました。など(3名)
- ・他業種の方と留学生採用について生の情報校交換ができてよかったです。
- ・グループ替えがあると、多くの方と意見が聞けると思います。
- ・採用後のケアなどについて、とても参考になりました。

6. 本日配布した「留学生職業人育成ガイド」の感想をお聞かせください。

興味を持たれたページ、今後役に立ちそうだと思われるページ番号にチェックを記入してください。

(あてはまるものすべてに印)

質問項目	①専門学校解説ページ (P2-6)	②外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識 (P7-10)	③専門学校情報カード外国人雇用等関連サイトのご紹介 (P11)	④日本で、母国で活躍する専修学校各種学校の留学生 (P13-26)	⑤専門学校情報カード (P27-136)	無回答 ( <input checked="" type="checkbox"/> が 0)	合計
人数	9	23	7	6	5	3	—
%	0	0	0	0	0	0	

7. 企業様にお伺いします。貴社の留学生採用に関する状況をお聞かせください。

1) 貴社は外国人留学生を採用する予定はございますか。(いずれか1つを選択)

質問項目	①採用経験があり、今後も採用予定がある	②現在までに採用経験はないが、採用予定がある	③すでに採用経験はあるが、今後は採用しない	④現在までに採用経験はなく、採用予定もない	⑤検討中である	無回答 ( <input checked="" type="checkbox"/> が 0)	合計
人数	21	7	0	0	5	2	35
%	60.0	20.0	0	0	14.3	5.7	100.0

2) 7の1)で③、④、⑤とお答えの方にお聞きします。留学生を採用しない理由をお聞かせください。【自由回答】

- ・ハードルが高いと思っていた。
- ・まだまだ社内が醸成されていない。
- ・スタッフの数が少ない。
- ・ニーズがまだない(今後は可能性大)。
- ・今のところ必要ない。
- ・事業の展開によっては必要と考えている。タイミングの問題です。

3) 7の1)で①、③とお答えの方にお聞きします。外国人留学生を採用時、採用後の課題をお聞かせください。【自由回答】

- ・採用時(総合職としてお採用はこれまで実績ありますが、技術職の採用経験がなく、ビザが通るか心配しています。)採用後(初めての国の留学生の場合、教育のノウハウが分からない)。
- ・採用時の在留資格申請の準備と採用後の文化等の違いによるトラブルなど解決方法など。
- ・面接だけでは学生の事をすべて理解できないため、インターンシップが必要。
- ・採用担当ではないので詳細については不明。
- ・まずは社内(企業)側の体制構築が必要。
- ・言語以外の研修プログラムの早期作成が必要。
- ・弊社のビジネスモデルや理念を理解できるかどうか。
- ・定着指導とコミュニケーション。
- ・特にありません。
- ・留学生と出会える場、機会が少ない。
- ・入国管理局で就労資格を取得するのが困難。(手続きではなく雇用理由の問題)
- ・定着率、日本人でも離職していく中、どれくらいの留学生が定着してくれるか、家庭の事情ではなく、人間関係で辞めるのでは勿体ない。
- ・採用時(自社事業の理解、留学生の希望、日本語力をベースにマッチする人材の採用につとめました。)
- ・入社前と入社後のギャップを埋める意味でも、個別フォローに力を入れています。)
- ・初任給だけで判断するのではなく、キャリアUPと共にプロセスを重視することをおすすめします。
- ・在留資格更新
- ・就活の準備不足。
- ・習慣、宗教、いろいろな事を受け手も勉強しています。
- ・日本の文化を理解していただくこと。
- ・留学生に対する知識不足を感じました。勉強を進めます。
- ・将来の明確なキャリアプラン。
- ・勤務年数を伸ばしていくことが課題。
- ・採用後の研修方法。

8. 参加者全員にお伺いします。当連合会より、留学生支援に関するご案内をさせていただいてもよろしいですか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	31	1	3	35
%	88.6	2.9	8.6	100.1

9. 参加者全員にお伺いします。お名前、貴団体名(会社・学校・団体)等をご記入ください。→別紙一覧

平成27年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
外国人留学生採用交流会アンケート集計<②行政>

【調査概要】調査日：平成27年12月16日（水）

○調査方法：会場にて配布、終了後に回収

○調査対象：参加者78名（うち行政のみ6名）

○回収数：行政5件

1. 氏名、団体名の記入→別紙集計

2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	4	1	0	0	5
%	80.0	20.0	0	0	100.0

1)【自由回答】希望時期は？（11月1件）

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	5	0	0	0	5
%	100.0	0	0	0	100.0

2)【自由回答】希望時間は？（記載なし）

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜ミニ研修＞就労ビザ申請の手続きのポイント

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	1	2	1	0	0	0	5
%	20.0	60.0	20.0	0	0	0	100.0

2)＜事例発表1＞「日本企業への就職～仕事の魅力」(株)ホンダカーズ三重 チャン・チュン・ヒュー 氏[日本理工情報専門学校 卒業生](出身国:ベトナム)

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	1	2	1	0	0	0	5
%	20.0	60.0	20.0	0	0	0	100.0

3)＜事例発表2＞「留学生採用企業様による講演」(株)王宮(なんば道頓堀ホテル)専務取締役 橋本明元 氏留学生採用企業人事担当者による講演

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	4	1	0	0	0	0	5
%	80.0	20.0	0	0	0	0	100.0

4. テーマ別ディスカッション、自由交流について十分な情報交換ができましたか。

質問項目	①とても有意義だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義ではなかった	⑤有意義ではなかった	無回答・無効	合計
人数	2	3	0	0	0	0	5
%	40.0	60.0	0	0	0	0	100.0

5. 本日の交流会に関する感想をお聞かせください。

1) 本日の交流会は、有意義だと思われましたか？

質問項目	①とても有意義だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義ではなかった	⑤有意義ではなかった	無回答・無効	合計
人数	3	1	0	0	0	1	5
%	60.0	20.0	0	0	0	20.0	100.0

2) 今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	4	0	1	5
%	80.0	0	20.0	100.0

3) 本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。【自由回答】

・様々な立場の方とお話をする機会があまりないので、とても有意義な時間でした。

6. 本日配布した「留学生職業人育成ガイド」の感想をお聞かせください。

興味を持たれたページ、今後役に立ちそうだと思われたページ番号にチェックを記入してください。

(あてはまるものすべてに印)

質問項目	①専門学校解説ページ (P2-6)	②外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識 (P7-10)	③専門学校情報カード外国人雇用等関連サイトのご紹介 (P11)	④日本で、母国で活躍する専修学校各種学校の留学生 (P13-26)	⑤専門学校情報カード (P27-136)	無回答・無効	合計
人数	2	2	0	2	1	0	
%	0	0	0	0	0	0	

7. 企業対象内容アンケートのため、集計なし。

8. 参加者全員にお伺いします。当連合会より、留学生支援に関するご案内をさせていただいてもよろしいですか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	4	0	1	5
%	80.0	0	20.0	100.0

9. 参加者全員にお伺いします。お名前、貴団体名(会社・学校・団体)等をご記入ください。→別紙一覧

平成27年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
外国人留学生採用交流会アンケート集計<③専門学校・留学生委員>

【調査概要】調査日：平成27年12月16日（水）

○調査方法：会場にて配布、終了後に回収

○調査対象：交流会参加者78名（うち専門学校、留学生委員 計30名）

○回収数：専門学校、留学生委員15件

1. 氏名、団体名の記入→別紙集計

2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	14	1	0	0	15
%	93.3	6.7	0	0	100.0

1)【自由回答】希望時期は？（記載なし）

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	15	0	0	0	15
%	100.0	0	0	0	100.0

2)【自由回答】希望時間は？（記載なし）

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜ミニ研修＞就労ビザ申請の手続きのポイント

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	7	7	1	0	0	0	15
%	46.7	46.7	6.7	0	0	0	100.1

2)＜事例発表1＞「日本企業への就職～仕事の魅力」(株)ホンダカーズ三重 チャン・チュン・ヒュー 氏[日本理工情報専門学校 卒業生](出身国:ベトナム)

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	3	10	2	0	0	0	15
%	20.0	66.7	13.3	0	0	0	100.0

3)＜事例発表2＞「留学生採用企業様による講演」(株)王宮(なんば道頓堀ホテル)専務取締役 橋本明元 氏留学生採用企業人事担当者による講演

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	10	5	0	0	0	0	15
%	66.7	33.3	0	0	0	0	100.0

4. テーマ別ディスカッション、自由交流について十分な情報交換ができましたか。

質問項目	①とても有意義だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義ではなかった	⑤有意義ではなかった	無回答・無効	合計
人数	7	7	1	0	0	0	15
%	46.7	46.7	6.7	0	0	0	100.1

5. 本日の交流会に関する感想をお聞かせください。

1) 本日の交流会は、有意義だと思われましたか？

質問項目	①とても有意義だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義ではなかった	⑤有意義ではなかった	無回答・無効	合計
人数	7	7	1	0	0	0	15
%	46.7	46.7	6.7	0	0	0	100.1

2) 今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	12	1	2	15
%	80.0	6.7	13.3	100.0

3) 本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。【自由回答】

- ・橋本氏の講演に感動しました。一度尋ねてみたいです。ありがとうございました。
- ・就労ビザ申請手続きのポイントについてももっと詳しくお聞かせいただきかったです。
- ・留学生を採用される企業側が、本人が能力を発揮できるようにいろいろと配慮をしてくださっていることがわかり、とても感動しました。
- ・いろいろな情報を得ることができ、よい機会だった。
- ・ざっくばらんな企業様のお話が伺えてとても有意義でした。ありがとうございました。
- ・学生が参加・発言しやすいグループディスカッションが欲しい。

6. 本日配布した「留学生職業人育成ガイド」の感想をお聞かせください。

興味を持たれたページ、今後役に立ちそうだと思われたページ番号にチェックを記入してください。

(あてはまるものすべてに印)

質問項目	①専門学校解説ページ (P2-6)	②外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識 (P7-10)	③専門学校情報カード外国人雇用等関連サイトのご紹介 (P11)	④日本で、母国で活躍する専修学校各種学校の留学生 (P13-26)	⑤専門学校情報カード (P27-136)	無回答 ( <input type="checkbox"/> が 0)	合計
人数	3	10	3	5	1	3	—
%	0	0	0	0	0	0	

7. 企業対象内容アンケートのため、集計なし。

8. 参加者全員にお伺いします。当連合会より、留学生支援に関するご案内をさせていただいてもよろしいですか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	9	1	5	15
%	60.0	6.7	33.3	100.0

9. 参加者全員にお伺いします。お名前、貴団体名(会社・学校・団体)等をご記入ください。→別紙一覧



## アンケート

本交流会にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後の事業の参考にさせていただきますので、ご感想をお聞かせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### 1. 貴団体の業種をお聞かせください。該当する業種に☑チェックを記入してください。

- |                                    |                                 |                                 |                               |                                   |                              |  |                                |
|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|--|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 教育, 学習支援業 | <input type="checkbox"/> 公務     |                                 |                               |                                   |                              |  |                                |
| <input type="checkbox"/> 農業        | <input type="checkbox"/> 林業     | <input type="checkbox"/> 漁業     | <input type="checkbox"/> 鉱業   | <input type="checkbox"/> 建設業      | <input type="checkbox"/> 製造業 | <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 | <input type="checkbox"/> 情報通信業 |
| <input type="checkbox"/> 運輸業       | <input type="checkbox"/> 卸売・小売業 | <input type="checkbox"/> 金融・保険業 | <input type="checkbox"/> 不動産業 | <input type="checkbox"/> 飲食店, 宿泊業 |                              |  |                                |
| <input type="checkbox"/> 医療, 福祉    | <input type="checkbox"/> サービス業  | <input type="checkbox"/> その他( ) |                               |                                   |                              |  |                                |

### 2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。(いずれか1つを選択)

#### 1) 開催時期について

- ①ちょうど良い ②もっと早くしてほしい(具体的に: \_\_月頃) ③もっと遅くしてほしい(具体的に: \_\_月頃)

#### 2) 実施時間について

- ①ちょうど良い ②長すぎる(具体的に: \_\_時間位ならよい) ③短すぎる(具体的に: \_\_時間位ならよい)

### 3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。(いずれか1つを選択)

#### 1) <ミニ研修>就労ビザ申請の手続きのポイント

- ①とても役立つ内容だった ②役立つ部分もあった ③どちらでもない ④あまり役立たない ⑤役立たない

#### 2) <事例発表1>㈱ホンダカーズ三重 チャン・チュン・ヒュー 氏 講演

- ①とても役立つ内容だった ②役立つ部分もあった ③どちらでもない ④あまり役立たない ⑤役立たない

#### 3) <事例発表2>㈱王宮(なんば道頓堀ホテル)専務取締役 橋本明元 氏講演

- ①とても役立つ内容だった ②役立つ部分もあった ③どちらでもない ④あまり役立たない ⑤役立たない

### 4. テーマ別ディスカッション、自由交流について十分な情報交換ができましたか。

- ①とても有意義だった ②有意義だった ③どちらでもない ④あまり有意義ではなかった ⑤有意義ではなかった

### 5. 本日の交流会に関する感想をお聞かせください。

#### 1) 本日の交流会は、有意義だと思われましたか？

- ①とても有意義だった ②有意義だった ③どちらでもない ④あまり有意義ではなかった ⑤有意義ではなかった

#### 2) 今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。 ①はい ②いいえ

#### 3) 本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

----------------------

→裏面へ続く

6. 本日配布した「留学生職業人育成ガイド」の感想をお聞かせください。

興味を持たれたページ、今後役に立ちそうだと思われたページ番号に☑チェックを記入してください。  
(あてはまるものすべてに☑印)

- ①専門学校解説ページ(P2-6)   ②外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識(P7-10)  
③専門学校情報カード外国人雇用等関連サイトのご紹介(P11)  
④日本で、母国で活躍する専修学校各種学校の留学生(P13-26)   ⑤専門学校情報カード(P27-136)

7. **企業様にお伺いします。** 貴社の留学生採用に関する状況をお聞かせください。

1) 貴社は外国人留学生を採用する予定はございますか。(いずれか1つを選択)

- ①採用経験があり、今後も採用予定がある   ②現在までに採用経験はないが、採用予定がある  
③すでに採用経験はあるが、今後は採用しない   ④現在までに採用経験はなく、採用予定もない  
⑤検討中である

2) 7の1)で③、④、⑤とお答えの方にお聞きします。留学生を採用しない理由をお聞かせください。

3) 7の1)で①、③とお答えの方にお聞きします。外国人留学生を採用時、採用後の課題をお聞かせください。

9. **参加者全員にお伺いします。** 当連合会より、留学生支援に関するご案内をさせていただいてもよろしいですか。 ①はい   ②いいえ

10. **参加者全員にお伺いします。** お名前、貴団体名(会社・学校・団体)等をご記入ください。

貴団体名 \_\_\_\_\_ 担当部署: \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会(大専各)

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。

※このアンケートによって提供いただいた個人情報に関して、当連合会の国際化事業及び情報提供以外の目的では使用いたしません。

#### 4-B. 専修学校職業教育普及のための外国人留学生職業人育成ガイドの作成

##### 1. 目的・ねらい等

専修学校の留学生教育の現状を理解していただき、より多くの留学生を採用・活用していただくために、昨年度より「職業人育成ガイド」は就職をキーワードとしたガイドとして作成し、地域中小企業へ配布、理解促進のツールとしてきた。今年度も継続的に同事業を実施し、「専門学校留学生の日本就職、日本企業就職」をキーとした一層充実したガイドブックとして発行、配布を行う。特に掲載学校を広く近畿一円の専門学校へ声をかけ、掲載学校の増加に努める。

##### 2. 関連して行った事業名

- 「1-A. WEBサイトを活用した国内・海外への留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信
- 「4-A. 留学生採用企業交流会」

##### 3. 実施結果

『平成27年度留学生職業人育成ガイド』

###### (1) 総ページ数

140 ページ (昨年度 120 ページ)

###### (2) 掲載内容

留学生受け入れ校 105 校の情報掲載

(掲載内訳：大阪府内 92 校、京都府 8 校・滋賀県 1 校・兵庫県 3 校・和歌山県 1 校)

(昨年度情報掲載校大阪 85 校 昨年度比 123.5%)

専門学校卒業後に活躍する元留学生たちの紹介者数 43 名

(昨年度紹介者数 49 名 昨年度比 87.8%)

###### (3) 活用状況

- ・全国の日本語学校(北海道・東北・沖縄を除く)への郵送
- ・「4-A. 留学生採用企業交流会」にて配布
- ・「広島県専修学校各種学校連盟」、「福岡県専修学校各種学校協会」講演会等にて配布
- ・関西経済同友会へ配布
- ・「外国人留学生受入志望動向研究会」にて配布

##### 4. 当初目的の達成状況

企業の更なる活用を意識しながらも、留学生受け入れ窓口である日本語教育機関への利用促進も視野に入れ、「専修学校各種学校留学生情報カード」の情報掲載数を増やす方針で冊子作成に臨んだ。大阪府内の未掲載校へ掲載を呼びかけただけでなく、京都、滋賀、兵庫、和歌山の留学生受け入れ校にも情報掲載を依頼し、その結果、昨年の掲載校が大阪のみで 85 校であったのに対し、今年は大阪が 92 校、全体で 105 校と、掲載校の数を大きく伸ばすことができた。

卒業生の紹介数が 2 年連続で減少しているが、これは読みやすいレイアウトに変更して掲載数を整理し、さらに情報の鮮度を重視して古い情報を削除したためである。

昨年初掲載で好評を得た「外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識」については、就労ビザ申請の実務で頻出する質問と回答例を増やし、ビザ実務担当者の利便性を高めた。

留学生情報カードの留学生受け入れ校の情報については、WEBとの連携がスムーズに図れている。紙媒体での利用だけでなく、ネットを通じて必要な時に必要な情報を PDF 形式でダウンロードできるため、益々の有効活用が期待される状況である。

## 5. 成果

毎年、「留学生採用企業交流会」等のイベントにおける配布や、WEB掲載を継続してきたことにより、当冊子の認知度がアップし、日本語教育機関においても企業においても活用される場が多くなってきている。外国人留学生採用交流会におけるアンケートで「留学生職業人育成ガイド」に関する感想をお聞きしたが、掲載内容の中で「外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識」に対する関心が飛びぬけて高い様子がうかがわれる。（当実施報告書の50ページ参照）

掲載情報については、より理解しやすく、役立つ情報を目標に作成し、年々改善を図ってきたが、完成度が高いとの評価をいただけるまでになった。留学生受け入れ校の情報カード掲載数が増えたことが、これを裏付けている。

## 6. 成果物

『平成27年度 留学生職業人育成ガイド』

## 7. 次年度以降における課題・展開

日本語教育機関や企業から高評価を得るようになり、完成度の高い冊子となってきたが、更に内容を充実させることが、当冊子への信頼度を高め、継続的な利用につながる。そのためには、日本語教育担当者、留学生採用担当者から掲載情報に関する意見・要望を収集精査し、その声を的確に反映した紙面作りを押し進めることが今後の重要課題となる。

### 第3章：「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」のまとめ

#### 1. 委託事業の成果

今年度の事業は、大専各が過去6年間にわたり「関西型留学生就職支援基盤の構築事業」、「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」において推進してきた成果を受けて、下記の各事業に取り組み、専門学校留学生の日本就職の推進事業を新しい段階へと導くことができた。

具体的には、日本の専門学校での留学生への職業教育の質の高さを国内外へ普及することができ、WEBコンテンツの充実、海外拠点整備、日本語学校連携事業、企業交流会という事業を通して、一層のプレゼンスを得ることに成功した。

留学生受け入れは、質的にも量的にも新たな段階が始まっており、それゆえ求められる課題も多様で複雑になっている。大専各がこの6年を通して得たネットワーク、スキームがその課題解決の土台として展開力持っているがゆえに、よりプレゼンスを高めることができたといえる。送り出し機関（日本語学校）、就職受け入れ機関（企業）が、それぞれ課題をもって今年度の事業に参画していただけたこと、このネットワークを活用して課題解決の場として位置付けて各事業に協力していただけたことが大変な成果であった。

#### (1)委託事業の成果一覧

NO.	事業名	活動指標	目標と実績	実績
1-A	WEB上での留学情報・職業教育の発信情報の整備、教育コンテンツの発信	2月リニューアル完成	サイトの充実度を実施委員会で評価	1. 今年度の主な作業、作成コンテンツ等 ○E-learningコンテンツ新規作成(日本語トレーニングテスト 慣用句編) ○2015年度版サイトの作成(今年度の職業人育成ガイド内容に合わせサイト内のデータ、図表、コメント、レイアウトを更新) ○スマートフォンへの対応 2. ダウンロードサービスコンテンツ ○平成27年度版 留学生職業人育成ガイド(PDF) ○平成27年度版 出前授業メニュー(PDF) ○教材提供サービス(初級・中級)(PDF、Word)
2-A	現地職業教育機関とのネットワークの充実	2B事業3名の招へい	招へい者の決定につなげる	2-Bに掲載
2-B	現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入	対日視察招へいの集客	来日招へい者の増加と満足度、協定実績数の増加	1/26(火)～30(土)ベトナム教育機関視察来日  <介護> 【招へい校】 ①ハノイ医科大学 ②ハノイ医療短期大学 ③フアムゴック医学大学 【担当校】 ①近畿社会福祉専門学校 ②関西社会福祉専門学校  <服飾> 【招へい校】 ①ヒューテック大学 【担当校】 ①上田学園 <建設・IT> 【招へい校】 ①ホアビン経済技術短期大学 【担当校】 ①修成建設専門学校 ②清風情報工科学院  【来日スケジュール】 ①1月26日視察団来日セレモニー／懇親会 ②1月27日奈良東病院グループ施設 ふれあいの里見学、近畿社会福祉専門学校、大阪バイオメディカル専門学校 見学 ③1月28日関西社会福祉専門学校、帝塚山リハビリテーション病院見学、グレースサコヌ阪南町、学校法人瓶井学園 見学
3-A	日本語学校、専門学校の受け入れ担当者向け研修会の実施	研修会への集客	専門学校、日本語学校担当者数100名を目標とする。	【参加者数】合計:85名 1/22(金)「日本語学校・専門学校の受け入れ担当者向け研修会」実施 <内訳>専門学校22名、日本語学校48名、主催者14名、講演者1名
3-B	「出前授業」/パンフレットの作成と「出前授業」の日本語学校への普及	出前授業の集客	近畿圏の日本語学校10校へ普及する。	「出前授業メニュー」完成、配布 ・掲載講座数62講座(掲載専門学校28校) ・参加日本語学校11校 ※ ※報告を受けている日本語学校数となります。
4-A	留学生採用企業交流会の実施	交流会集客と満足度	集客目標100名と満足度を評価指標とする。	【参加者数】合計:78名 12/16(水)「外国人留学生採用交流会」実施 <内訳>企業39名、行政6名、専門学校17名、主催者13名、講演者3名
4-B	専修学校職業教育普及のための外国人留学生職業人育成ガイドの作成	ガイド掲載校数と配布数	ガイド掲載校の1.2倍を目標に募集する。配布は予定通り実施。	「平成27年度 留学生職業人育成ガイド」完成 総ページ数:140ページ 留学生受入れ校:105校 企業紹介2件/活躍する卒業生紹介43名

## 2. 次年度以降における課題

次年度以降の課題としては、上記の成果と個別事業での実施成果と数年間取り組んだ事業成果全体を踏まえ、今一度原点に立ち戻り全体像を整理し直すこと、専門学校全体として各分野でのニーズと課題を再点検して、必要とされる課題解決のための重点的、集中的な取り組みに転換していくことが求められています。具体的には以下のような課題解決が求められています。

- (1) 留学生の日本就職支援を文部科学省の事業受託で長く実施してきた、留学生支援の項目や必要なスキルや知識については、採用側と学校側とでの一定の共有が進んでいます。また企業のASEAN進出の本格化や、近年の外国人観光客の急速な増加に伴うインバウンド事業（サービス部門）での留学生の日本就職が大きく前進しています。また介護分野も含めたこれまでにない新たな分野での留学生の日本就職が始まろうとしています。また採用側もこれまでの受け入れの初期段階から、受け入れた人材を長期的にどう育成・活用するかという本格的な課題に面しています。量と質の二つの面で留学生の日本就職は新たな段階に突入しているといえます。そのためTCE財団で取り組まれている新たな企業ニーズ調査、専門学校での留学生受入全国調査の結果を踏まえ、今一度留学生就職支援スキーム全体を見直す必要があります。課題解決型の産官学ネットワークの形成、新たな分野就職と非漢字圏対応を取り入れた留学生職業教育の深化が求められています。
- (2) 上記の観点から出口としての企業側ニーズの把握と専門学校での留学生教育の質保証を再度見つめ直すとともに、これに直結して入り口としての留学生の受け入れについても海外及び国内の送り出し機関と連携した対策が重要です。ベトナムを中心とした非漢字圏の留学生受け入れは、日本語学校において大量の受け入れが進み、現在専門学校入学へと押し寄せています。しかし非漢字圏の漢字教育やアルバイトと勉学の両立などの十分に解決されないままの受け入れで、極めて低い日本語力しか全体として習得できていないという課題が存在します。これまでの東アジアの漢字圏を中心とした語学教育と専門教育の在り方が問われています。その意味で国内外の留学生送り出し機関との強い連携と対策により円滑な受け入れを進めるとともに、非漢字圏の学生の語学教育と専門教育の在り方について上記の質保証の観点も含めて、日本語学校、現地教育機関などの送り出し教育機関と連携して新たに開発し、普及する必要があります。
- (3) 日本の専門学校における職業教育の質の高さは、私たちはこれまでも普及に努めてきましたが、まだまだ十分に理解されているとは言えません。海外においては専門学校の職業教育と一般的な職業訓練との区別の認識も広まっていません。国内外の教育機関や出口となる企業に次年度以降も継続的に日本の専門学校制度と職業教育の質の高さを訴求することが極めて重要であると考えます。そのためにWEB活用、企業との交流会、啓発冊子の配布などの事業を継続的に実施する必要があります。

## 第4章：提言2016

### 1. 趣旨

大専各は文部科学省の委託事業として「専修学校留学生総合支援プラン」とそれに続く「専修学校留学生就職アシスト事業」を受託し、「関西型留学生就職支援基盤の構築」「関西型留学生就職支援基盤の活用」「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」を継続的に展開してきました。それによって、専修学校留学生に対して就職の全体スキームの確立、地域での産官学のネットワーク形成、留学生職業教育の内容の開発と啓発を続け、関西の地域において留学生の日本就職が、社会一般に必要であると認知されるに至っています。しかしながら専修学校留学生の受入から就職までのワンストップサービスはまだ十分に定着しているとは言い難く、送り出し国においても専修学校での留学生への職業教育の質の高さが十分に認知されるまでには至っていません。

一方、企業の海外進出、とりわけ地域中小企業のベトナムを中心としたASEAN諸国等の海外進出に伴って必要とされるグローバル人材の育成と確保という課題が拡大しており対処が必要となっております。また近年の外国人観光客の急速な増加に伴うサービス事業、インバウンド事業で必要とされる人材の拡大も含めた企業ニーズの増大に伴い、非漢字圏の多様な文化を持つ留学生の受け入れがこれまでにないスピードで進んでいます。受け入れ体制の整備も十分には整ってはならず、新たな課題解決への取り組みが始まっていますが、尚解決の努力の途上にあります。

留学生に対する職業教育の質の高さと産官学の強い絆を持つと自負する私たち関西の専修学校は、これまでの成果をより推進するため重点的な施策の実現、新たな課題の解決をリードするべき立場にあると信じております。そのため、これまでの提言を踏まえ、今年度は以下の提言を、行政、業界団体、産業界へ行います。

### 2. 5つの提言

#### 提言1 非漢字圏の多様な文化を持つ留学生の受入れ体制の整備・拡充を。

日中関係の変化と地域産業界のASEAN地域への進出の本格化に伴い、ベトナム、ネパールをはじめとする非漢字圏の多様な文化を持つ留学生の受け入れがこれまでにないスピードで進みだしています。そのためこれら開発途上国の留学生受入の体制整備・拡充が急務となっております。

第1に、日本留学に関わるあらゆる機関に対し、送り出し国への日本留学についての正確な情報提供と、適切な学生募集・入国審査、適切な日本語教育と在籍管理などの対応を求めます。

第2に、専修学校においては、中国からの受け入れ急増時に「専門学校留学生受入に関する自主規約・ガイドライン」を制定して適切な留学生受入を確認しました。この自主規約・ガイドラインを今一度全国の会員校へ周知・啓発し適切な留学生受入を推進すること。また、現在各校で努力している途上国留学生の日本語教育、生活支援の取り組みを地域全体の受け入れ体制整備の課題として取り上げ、受け入れ研修会などを通して受け入れ体制を整備・拡充すること。

第3に、これらの国の受け入れ窓口の役割を担っている国内日本語教育機関と協力して、秩序だった学生募集の促進、様々な課題解決を促進すること。日本語科をもつ専修学校は率先してその行動を行って参ります。

第4に、従来の受け入れ推進一辺倒を改め、適切な受け入れに全面的に協力し、入国管理政策を担当する入国管理局と留学生受け入れに関わる諸業界団体との定期的な協議の場を設けられるよう各方面に働きかけます。

## 提言2 留学生を日本に引き付ける日本の魅力と専修学校の職業教育の魅力を世界へ発信。

留学生の獲得は、現在国際間の競争状況にあります。いかに優秀な留学生を自国に受け入れ、自国に優れた国際人材を取り組むかは、世界的な競争状況にあります。そのために各国とも自国の文化と魅力の発信にしのぎを削っている状況です。その点では大阪・関西は歴史的、文化的に多くの観光資産をもっており、この魅力発信による関西への観光客の増加が、留学生の増加のインフラになることは言うまでもありません。すでに受け入れている留学生を活用した地域観光産業界との協力や、海外で展開される JAPAN コンテンツ普及とのジョイントなどによる「日本や関西の魅力」発信を求めます。同様に、産業集積の多い大阪・関西の産業界と連携した情報発信の継続が必要です。

また、留学生の送り出し国に、WEB を活用した多言語での情報発信を強化することも求められています。日本の専修学校の多様な職業教育は世界のトップ水準にあり十分に世界の若者を魅了する内容をすでにもっています。これら専修学校の職業教育の魅力をいかに効果的に発信するか、世界の若者に届けるか。前述の情報発信との連動を含め、この情報発信にさらに工夫と努力が求められています。

## 提言3 非漢字圏の日本語教育、留学生基礎力の拡充など専修学校の留学生職業教育の 深化と普及を。

私たちは、企業のニーズに基づいた人材育成の観点から、留学生が日本企業に就職するために必要な力の養成を「留学生基礎力」として開発し普及に取り組んできました。教育の着地点である出口部分の就職のニーズから開発されたこの留学生基礎力をさらに普及すること、カリキュラム・教材を、ブラッシュアップして成熟化させるとともに、これを国内外へ普及することが重要だと考えています。

これまでの「留学生基礎力」は中国・韓国を中心とした就労者や留学生を想定して記述されております。また現在急増中のASEAN諸国を中心とした非漢字圏の多様な文化をもつ就労者や留学生にも十分対応できるように内容を拡充することが必要です。加えて非漢字圏の学生への日本語力、漢字語彙力、日本語コミュニケーション力、ビジネス日本語の強化を目的とした教育の充実が必要で、効果的な学習法の開発、検定化への取り組みと普及が必要です。これらの取り組みにより専門学校での留学生教育の質保証を実施していくことが求められていると考えています。

## 提言4 留学生就職支援基盤の充実により専修学校留学生の更なる就職促進を。

留学生の就職を支援する産官学のネットワークが整備されはじめ、留学生の日本就職の概念が日本社会の就職活動、採用活動の中に定着しつつあります。企業の合同説明会や留学生のためのインターンシップなども活発に実施されるようになってきました。また私たちの取り組みの成果として専修学校が送り出す留学生の質の高さに対する認識が行政、企業に徐々に浸透を始めています。今後この成果を拡大・定着させるためにも、地域中小企業との連携強化と産官学連携の奨学支援充実などの取り組みを推進する必要があります。

昨年と本年、企業からの求人ニーズが高まっているベトナムの教育機関との連携・提携促進を大専各として継続して取り組みました。現地教育機関との交流事業により、直接専門学校の魅力を伝え就職可能なスキームを組み上げるというアプローチに手応えを感じています。この取組に行政機関、企業からの協力を求めます。

また、高度専門士や、職業実践課程、母国で大学卒の専門学校入学者の存在など、質の高い多様な職業教育について、今後さらに行政機関、企業への啓発の活動が必要です。



## 提言5 専門学校各分野留学生の日本就職の制限となっている「在留資格制度」の

### 早期の改定と弾力的な運用を！

留学生の日本就職への門戸が大きく開かれつつあり、法制度においても、従来の在留資格の運用の弾力的運用、卒業後の就職活動を保証するための在留制度の実現など、大きく整備がなされてきました。本年度においては入国管理法の改定で、より柔軟な高度人材の受け入れが可能となってきております。

一昨年、日本料理の調理分野での日本就職が緩和され、受け入れが開始しました。加えて少子高齢化時代のグローバルな人材確保の観点から介護分野での緩和も行政が検討する段階に来ています。私たちは「介護福祉士」においては本年高度人材としての在留資格制度改定の案が提出予定で、国会の審議の結果に大きな期待を寄せています。しかしなお、福祉分野での社会福祉士、保育士、美容分野での美容師など専門学校で設置している学科の各資格での日本就職について制限をされたままの状態にあります。入管行政での法改正と弾力的な運用が進んでいるとはいえ、なお各分野での職種の制限が専門学校留学生の日本就職の壁となっているのも現実です。専門学校が設置する分野、学科での留学生の日本就職の実現は専門学校としての念願している事項です。これらが日本の文化発信にとって国家戦略ともなる分野であり、十分に高度な人材の育成分野であるので、早期の在留資格の緩和または新しい在留資格の創出が一日も早く実現することを求めます。特に、高度専門士や職業実践専門課程の修了者については、特段の配慮を求めます。

提言1 非漢字圏の多様な文化を持つ留学生の受入れ体制の整備・拡充を。

提言2 留学生を日本に引き付ける日本の魅力と専修学校の職業教育の魅力を世界へ発信。

提言3 非漢字圏の日本語教育、留学生基礎力の拡充など、専修学校の留学生職業教育の深化と普及を。

提言4 留学生就職支援基盤の充実により専修学校留学生の更なる就職促進を。

提言5 専門学校各分野留学生の日本就職の制限となっている「在留資格制度」の

早期の改定と弾力的な運用を！

## 第5章：成果の普及

### 1. 事業の周知実績

今年度は、下記の講演の機会を得て、事業の周知及び成果の報告を行った。

- (1) 留学生採用企業交流会での講演
- (2) 日本語学校、専門学校の受け入れ担当者向け研修会
- (3) ベトナム現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための視察団来日セレモニーでの周知
- (4) webサイト上での周知
- (5) TCE財団主催の研修会での講演

### 2. 報告書配布先

- (1) (一社)大阪府専修学校各種学校連合会 会員校
- (2) 都道府県専修学校各種学校協会等
- (3) 他府県の留学生受入専門学校
- (4) 全国日本語学校
- (5) 官公庁
- (6) 在関西総領事館
- (7) 大阪府内 大学
- (8) 留学生採用に関心の高い企業

### 3. 広報予定

本事業の広報を、当連合会のホームページまたは、大専各留学生支援サイト (<http://www.daisen-ryugaku.com/>) を活用し、次の機関および国内外にも行う予定である。

- (1) 大阪府庁
- (2) 大阪市役所
- (3) (財)日本語教育振興協会
- (4) 全国日本語学校
- (5) 独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)
- (6) 公益社団法人関西経済連合会
- (7) 文部科学省
- (8) 経済産業省
- (9) 法務省
- (10) 外務省
- (11) 領事館
- (12) 大学コンソーシアム大阪
- (13) 南大阪大学コンソーシアム
- (14) 大阪商工会議所
- (15) (一財)大阪労働協会
- (16) 関西経済連合会
- (17) 関西経済同友会 等

## 事業実施体制

### (1) 実施委員会

実施委員会			
氏名	所属・職名	役割等	所属機関の URL
福田 益和	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 理事長 大阪工業技術専門学校	委員長	www.fukuda.ac.jp
長谷川 恵一	エール学園	副委員長	www.ehle.ac.jp
上田 哲也	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 大阪エンタテインメントデザイン専門学校		www.ucf.jp
平岡 憲人	清風情報工科学院 日本語教育振興協会京阪名地区評議員		www.i-seifu.jp www.nisshinkyō.org
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校		www.kamei.ac.jp
富永 桂多	関西外語専門学校		www.tg-group.ac.jp
田中 祐司	辻調理師専門学校		www.tsuji.ac.jp
高田 直樹	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪		www.trajal.info
木村 泰一	ECC国際外語専門学校		japan.ecc.ac.jp
三枝 省三	修成建設専門学校		www.syusei.ac.jp
佐藤 裕幸	大阪 YMCA 国際専門学校		www.osk-ymca-intl.ed.jp
豊谷 貴	大阪商工会議所		www.osaka.cci.or.jp
梅村 その子	公益社団法人関西経済連合会		www.kankeiren.or.jp
佐々木 順一	(一財)大阪労働協会		www.jobcafeosaka.jp
渋谷 晴正	株式会社凡人社		www.bonjinsha.com
ワーキングメンバー			
長谷川 恵一	エール学園	委員長	www.ehle.ac.jp
上田 哲也	大阪エンタテインメントデザイン専門学校		www.ucf.jp
平岡 憲人	清風情報工科学院	副委員長	www.i-seifu.jp
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校	副委員長	www.kamei.ac.jp
富永 桂多	関西外語専門学校	副委員長	www.tg-group.ac.jp
三枝 省三	修成建設専門学校		www.syusei.ac.jp
山下 裕貴	修成建設専門学校		www.syusei.ac.jp
崎村 真	エール学園		www.ehle.ac.jp
萩原 大作	エール学園		www.ehle.ac.jp
古畑 和彦	清風情報工科学院		www.i-seifu.jp
木村 泰一	ECC 国際外語専門学校		japan.ecc.ac.jp
内山 雅文	大阪 YMCA 国際専門学校		www.osk-ymca-intl.ed.jp
瓶井 剛	日本メディカル福祉専門学校		www.kamei.ac.jp
川鍋 史一	森ノ宮医療学園専門学校		www.morinomiya-u.ac.jp
松野 弘美	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪		www.trajal.info
浜野 哲二	大阪工業技術専門学校		www.oct.ac.jp
白川 啓子	大阪YWCA専門学校		www.osaka.ywca.or.jp

(2) 事業実施協力機関等（本事業実施にかかる協力団体や機関を記載）

団体名、機関名等
近畿地区専修学校各種学校会員校
大阪府
大阪市
(一財)日本語教育振興協会
公益社団法人関西経済連合会
大阪商工会議所
(一財)大阪労働協会
株式会社凡人社
関西社会福祉専門学校
近畿社会福祉専門学校
株式会社 WAVE
G.A.コンサルタンツ株式会社
株式会社南海国際旅行

平成 27 年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業  
実施報告書

発行日 平成 28 年 3 月 第 1 版  
発行者 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会  
住所 〒534-0026 大阪市都島区網島町 6 番 20 号  
電話番号 : 06-6352-0048 FAX : 06-6352-7553